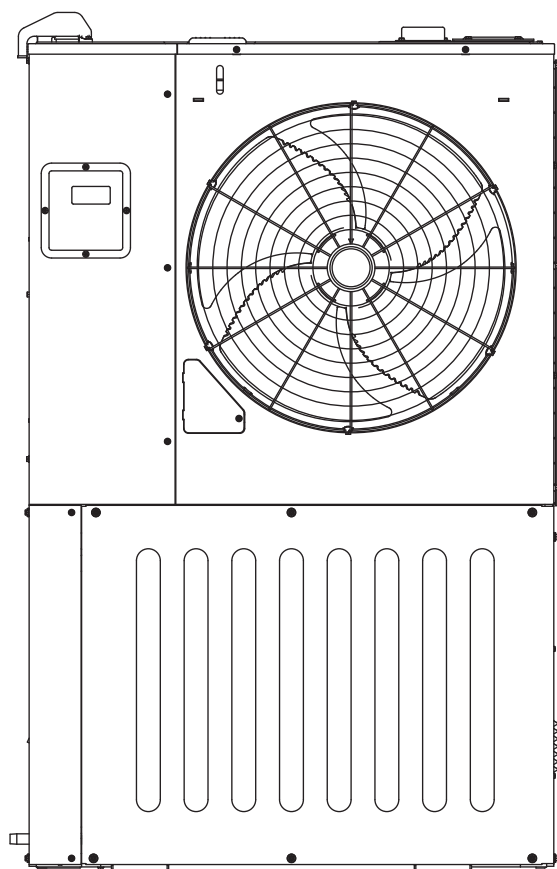


ガスヒーポン ハウジングマルチ 14.0kWタイプ

取扱説明書

このたびは、大阪ガスのガスヒーポンハウジングマルチをお買い上げいただきましてありがとうございます。
安全にご使用いただくために、機器を使用する前によく読み、十分に理解したうえで使用してください。

- この取扱説明書は、いつでも利用できる場所に大切に保管してください。
- 別添の保証書は、記載してあるお買い上げ日、販売店名、保証内容などをよく確認し、大切に保管してください。
- 来客者などが機器を使用するときは、その前に必ず取扱説明書の内容を説明してください。
- 本書を紛失された場合や、ご不明の点があればお買い求めの販売店または、もよりの大阪ガスにお問い合わせください。
- この機器は、国内専用ですので海外では使用しないでください。



室 外 機

(N)145-1102型

(型式名 YNHP140G1NBG)

(P)145-1102型

(型式名 YNHP140G1PBG)

室 内 機

(壁掛形) 145-7100/7101/7102/7103/
7104/7105/7106/7107/
7108/7109/7110/7111型

(天井カセット形) 145-7120/7121/7122/7123型

(壁埋込形) 145-7130/7131/7132/7133型

(隠ぺい形) 145-7140/7141/7142/7143型
(天井埋込形兼用)

マルチタイプエアコンの特徴

このエアコンは1台の室外機に、複数台の室内機を組み合わせ運転できるマルチタイプエアコンです。通常のエアコンと次の点が異なりますのでご注意ください。

※室内機は、2台以上接続してください。

●運転台数により多少能力が変わり、吹き出し温度が変化する場合があります。

●室外機は接続された、すべての室内機が停止した場合、全室サーモOFFの場合に停止します。

●室外機は圧縮機保護のため、いったん圧縮機が停止すると約3分間は再起動を防止する仕組みになっています。このとき運転を開始しても、室内機は最長約3分間送風運転の待機状態になります。

●冷房・ドライモードで運転を開始するとき、同一室外機に接続された他の室内機がすでに暖房モードで運転している場合、ご希望の運転モードが得られません。
また、暖房モードで運転を開始するときにも、同一室外機に接続された他の室内機がすでに冷房・ドライモードで運転している場合、ご希望の運転モードが得られません。
(詳細は31ページ参照)

●同一室外機に接続された他の室内機が運転している場合、停止中の室内機から冷媒が流れる音がする場合がありますが、異常ではありません。また、運転中やエアコンを止めたとき、室内機から冷媒が流れる音がする場合がありますが、異常ではありません。

●同時運転可能容量をこえた場合、リモコンにて運転を行っても、冷暖房されない場合があります。
室内機は待機中となります。(運転ランプは点灯しますが運転は行いません)
待機中の室内機を運転する場合は運転している室内機を停止させ、同時運転容量内に入るとすると自動的に運転を開始します。
(詳細は31ページ参照)

もくじ

本誌に記載されている記号について 2

1 安全にお使いいただくために 3

①お使いになる前のご注意 4

②運転中のご注意 8

③こんな時はお買い求めの販売店にご連絡ください 10

2 各部の名称とはたらき 11

①室外機 12

②分岐ユニット 12

③室内機 13

3 運転の基本操作 17

①リモコンの準備 18

②自動・ドライ・冷房・暖房・送風 運転 20

③風向の調節 22

④タイマー運転 26

⑤その他の運転 28

⑥運転の組み合わせ 31

4 快適にお使いいただくために 33

①上手な使い方 34

②日常のお手入れ 36

③シーズン始め・終わりのお手入れ 47

④故障かな？と思ったら 48

⑤アフターサービスと保証 51

⑥定期メンテナンスについて 52

⑦安全銘板と取付位置 53

5 仕 様 55

①室外機の仕様 56

②室内機の仕様 57

安全にお使い
いただくために

各部の名称とはたらき

運
転
の
基
本
操
作

い 快
た 適
だ に
く お
た 使
め い
に

仕
様

本誌に記載されている記号について

本製品を安全にご使用いただくために、この取扱説明書には次の記号を使用しています。
よく読んで内容をお確かめの上お使いください。

図記号の意味

 印は安全上、特に重要な部分でありますので必ず守ってください。



警告事項を守らない場合に、死亡や重大な傷害が生じる危険が存在することを示します。



安全な取扱いに対する助言、あるいは適切な注意を守らなかった場合に、傷害または製品の重大な破損に至る可能性があることを示します。



「してはいけないこと」を説明しています。



「必ずしていただきたいこと」を説明しています。



「必ずしていただきたいこと」で具体的な内容（左図は「必ずアース線を接続してください」）を図示しています。

1

安全にお使いいただくために

- ①お使いになる前のご注意…………… 4
- ②運転中のご注意…………… 8
- ③こんな時はお買い求めの販売店にご連絡ください…………… 10

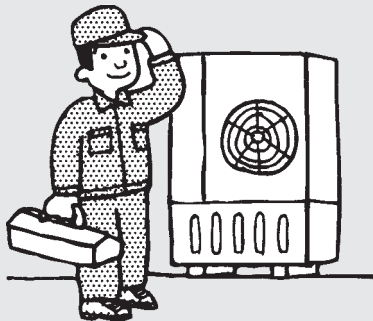
①お使いになる前のご注意

⚠ 警告

安全にお使い
いただくために



- 据え付けはお客様自身で行わず、販売店または専門の業者に依頼してください。
- ご自分で据え付け工事をされ不備があると、排気ガスの建物内流入による中毒、水漏れや感電、火災などの原因となります。



- 室外機の排気ドレンホースと室内機のドレンホース出口を同一にしないでください。
- 排水溝などを通じ、排気ガスが室内に逆流し排気ガスによる中毒の恐れがあります。正しく処理されていない場合は、お買い求めの販売店に連絡してください。



- 室外機の吸気口、排気出口や排気ドレン口をふさがないでください。ふさがっている場合は取り除いてください。
- 燃焼不良による一酸化炭素中毒の原因になります。



- 小部屋へ据え付ける場合は、万一冷媒が漏れても限界濃度を越えない対策が必要です。限界濃度を越えない対策については、販売店と相談して据え付けてください。
- 万一、冷媒が漏洩して限界濃度を越えると、酸欠事故の原因になります。



- 室内機や室外機の空気の吹出口や吸込口に指や棒などを入れないでください。
- 内部でファンが高速回転しており、けがの原因になります。



- 室外機の排気出口に触れないでください。
- やけどの原因になることがあります。





- 長時間冷風や温風を身体に直接当てたり、冷し過ぎや温め過ぎないようにしてください。
- 体調悪化、健康障害の原因になります。



- 室外機の排気ガスが建物内に入らないように注意してください。
- 排気ガスが、建物内に入ると、中毒などの原因になります。



- 室外機に表示されている燃料ガス種と使用ガス種が適合していることを確認してください。
- ガス種が異なると、燃焼不良による一酸化炭素中毒の原因になります。



- 電気配線は、専用の分岐回路を用い、他の電気機器を併用していないことを確認してください。
- 併用した場合、ブレーカ落ちによる2次被害の原因になります。



①お使いになる前のご注意（つづき）

安全にお使い
いただくために

警告



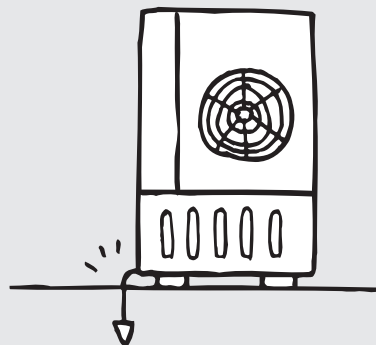
- 可燃性ガスの発生、流入、滞留、漏れの恐れのあるところ、揮発性引火物を取り扱うところに室外機、室内機を設置しないでください。
- 可燃物や引火性ガスへの引火による火災の原因になることがあります。



- 室内機ドレンの配管は、確実に排水するように施工することが必要です。確認してください。
- 配管工事に不備があると、水漏れし、家財などを濡らす原因になることがあります。



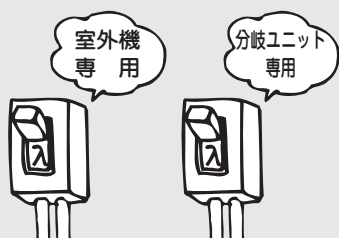
- アース工事が必要です。アース線は、ガスパイプ、水道管、避雷針、電話のアース線に接続してはいけません。ご確認ください。
- アースが不完全な場合は、感電の原因になることがあります。



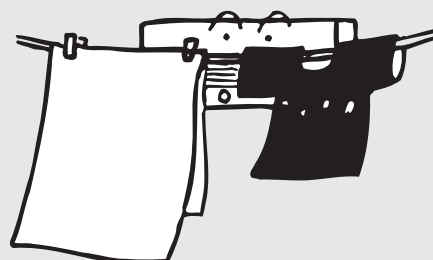
- 室外機ごとに漏電ブレーカの取り付けが必要です。ご確認ください。
- 分岐ユニット（1～4台）は、室外機とは別の漏電ブレーカの取り付けが必要です。
- 漏電ブレーカが取り付けられていないと感電の原因になることがあります。



- 電源供給は専用回線を設け開閉器は正しい容量の物をお使いください。もし、ヒューズをご使用の場合は、正しい容量のヒューズをご使用ください。
- ヒューズのかわりに針金や銅線などを使用しますと故障や火災の原因になります。お分かりになりにくい場合は、お買い求めの販売店にご相談ください。



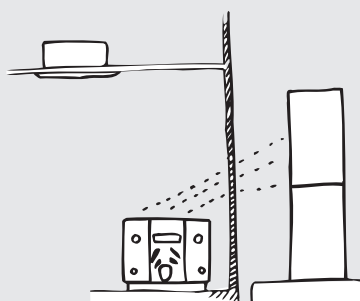
- 室内機の空気吸入口や吹出口を障害物でふさいだり、物を吊り下げないでください。
- 能力が低下したり、正常な運転が出来なくなります。





● 室外機の近くに電波を受信する機器（ラジオ・テレビ・室内アンテナなど）を置かないでください。

● 雑音が入ったり、映像が乱れたりすることがあります。室外機から影響される距離は、電波の受信状態により異なります。



● 食品・動植物・精密機械・美術品などの保存など特殊用途には使用しないでください。

● 品質低下などの原因になることがあります。



安全にお使い
いただくために

② 運転中のご注意

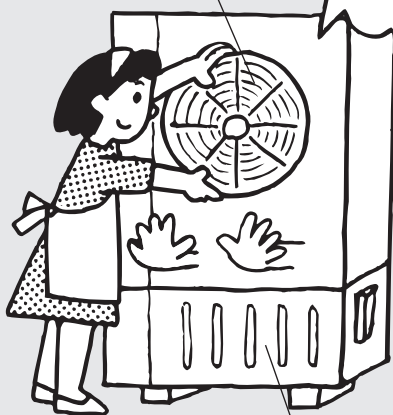
⚠ 注意



- 室外機のエンジンルームカバーは絶対に取り外さないでください。
- 内部には回転部、高温部、高電圧部があり、けがの原因になることがあります。
- 室外機の吹出口のファンガードを絶対に取り外さないでください。
- 内部でファンが高速回転しており、けがの原因となる場合があります。

ファンガード
[吹出口]

はずさないで!



エンジンルームカバー



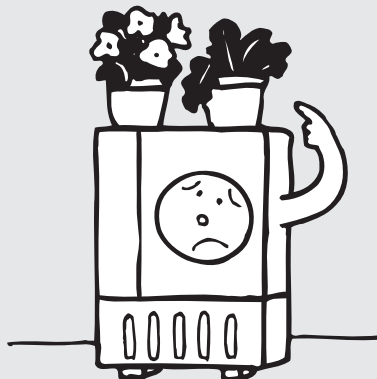
- 室内で燃焼機器と室内機を一緒に運転するときは、こまめに換気してください。
- 換気が不十分な場合、酸素不足の原因になることがあります。



- 室内機の風が直接当たる所に燃焼器具を置かないでください。
- 燃焼器具の不完全燃焼の原因になることがあります。



- 室外機の上に乗ったり、物を乗せたりしないでください。
- 落下転倒などによりけがの原因になることがあります。

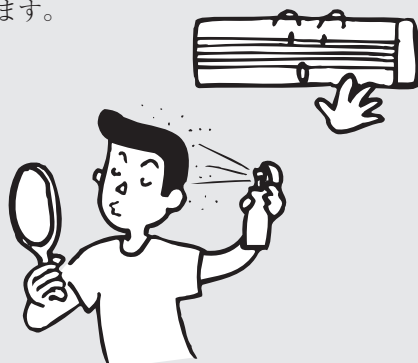


- 室外機の吹き出し風や排気ガスを直接、動植物に当てないでください。
- 動植物に悪影響を及ぼす原因になることがあります。





- ヘアスプレー、ラッカー、ペイントなどの可燃性スプレーを運転中の室内機の近くで使用しないでください。
- 電気機器が内蔵しており引火する恐れがあります。



- 停止の場合、電源を切って停止させないでください。
- 室内機のリモコンで停止させてください。



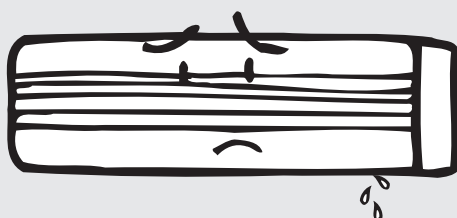
- 運転を停止して、再び運転する場合は約3分お待ちください。
- セーフティスタート回路が働いて室内機は運転しません。



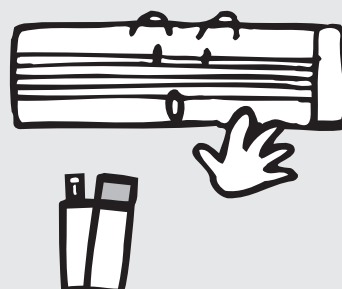
- 分岐ユニットのカバーは、取り外さないでください。
- 内部には高電圧部があり、感電の恐れがあります。



- 室内機の真下にぬれて困るものは置かないでください。
- 特に長時間連続的に運転したり、常に外気が流入するお部屋で運転すると露が付き、滴下する場合があります。



- 吹出口の1 m以内にスプレー缶等を置かないでください。
- 室内機からの温風によりスプレー缶等が爆発する恐れがあります。



③ こんな時はお買い求めの販売店にご連絡ください

警告



●異常時（こげ臭い、異常音、異常振動がする時など）は、リモコンで運転を停止して室外機の電源を切り、販売店などにご連絡ください。

●異常のまま運転を続けると、故障や感電、火災などの原因になります。



●室外機の燃料ガスが漏れているときは、すぐにガスの元栓を止めて、販売店などにご連絡ください。

●漏れたままにしておくと、火災や爆発などの原因になります。



●冷媒ガスが漏れているときは、エアコンを止め、部屋の換気を良くし、ガスコンロなどの火気の使用を中止し、販売店などにご連絡ください。

●漏れたままにしておくと、酸欠事故の原因になります。

●冷媒ガスが炎や火花に触れると有毒なガスが発生します。

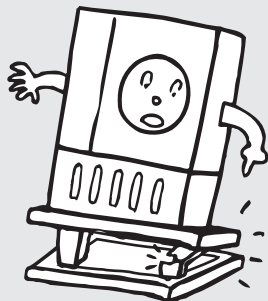


●室外機・室内機をお客様自身で修理したり、改造したりしないでください。修理は、販売店にご相談ください。

●修理に不備があると水漏れや感電、火災などの原因になります。

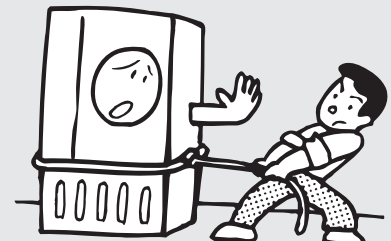


●取付け金具（ボルト・ナット）が外れていたり、防振架台が傷んでいると室外機が落下したり転倒してけがをする危険があります。販売店にご連絡ください。



●移設再設置する場合は、販売店または専門業者にご相談ください。

●据え付けに不備があると、排気ガスの建物内流入による中毒や水漏れ、感電、火災などの原因になります。



冷媒回収・破壊について

フロン類をみだりに大気中に放出することは禁じられています。破棄するにはフロン類の回収・破壊が必要です。回収・破壊はお買い上げの販売店・専門業者にご相談ください。

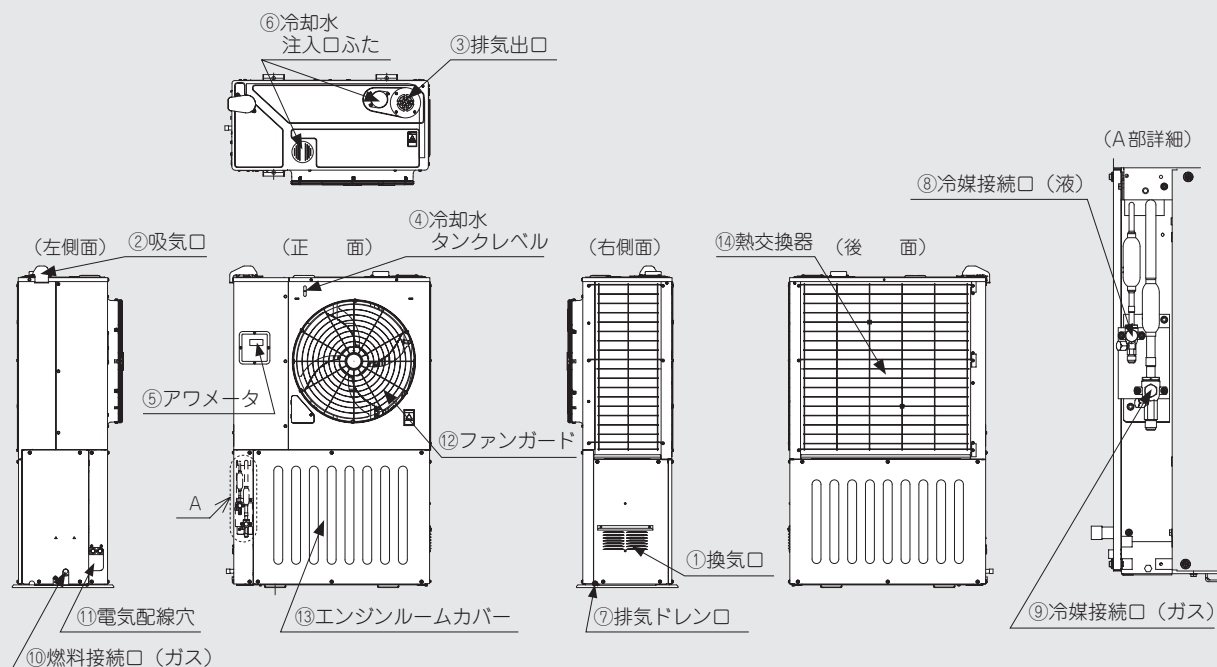
2

各部の名称とはたらき

①室外機	12
②分岐ユニット	12
③室内機	13

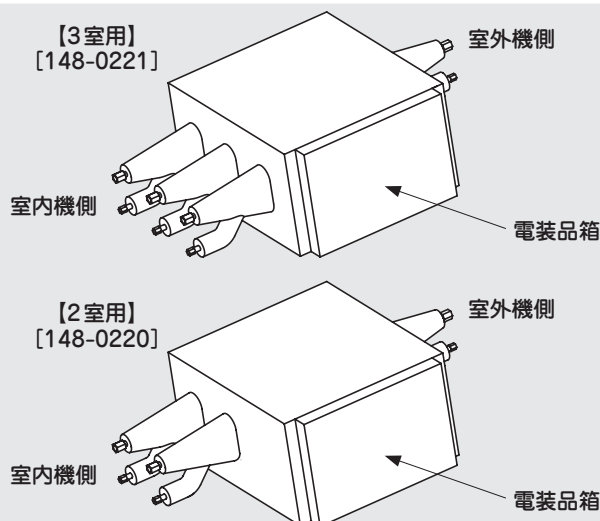
① 室外機 [(N)145-1102・(P)145-1102]

各部の名称とはたらき



- | | |
|-----------------------|-------------------------|
| ①換気口：エンジンルームの換気口 | ⑧冷媒接続口(液)：冷媒(液)配管の接続口 |
| ②吸気口：ガスエンジンの吸気入口 | ⑨冷媒接続口(ガス)：冷媒(ガス)配管の接続口 |
| ③排気出口：ガスエンジンの排気ガスの出口 | ⑩燃料接続口(ガス)：燃料ガス配管の接続口 |
| ④冷却水タンクレベル：冷却水タンクの水位 | ⑪電気配線穴：電気配線の配線取出口 |
| ⑤アワメータ：運転時間・エラーコードを表示 | ⑫ファンガード：ファン保護用 |
| ⑥冷却水注入口ふた：冷却水注入用 | ⑬エンジンルームカバー：ルーム密閉用 |
| ⑦排気ドレン口：ドレン水の排出口 | ⑭熱交換器：室外機の熱交換器 |

② 分岐ユニット



⚠ 注意

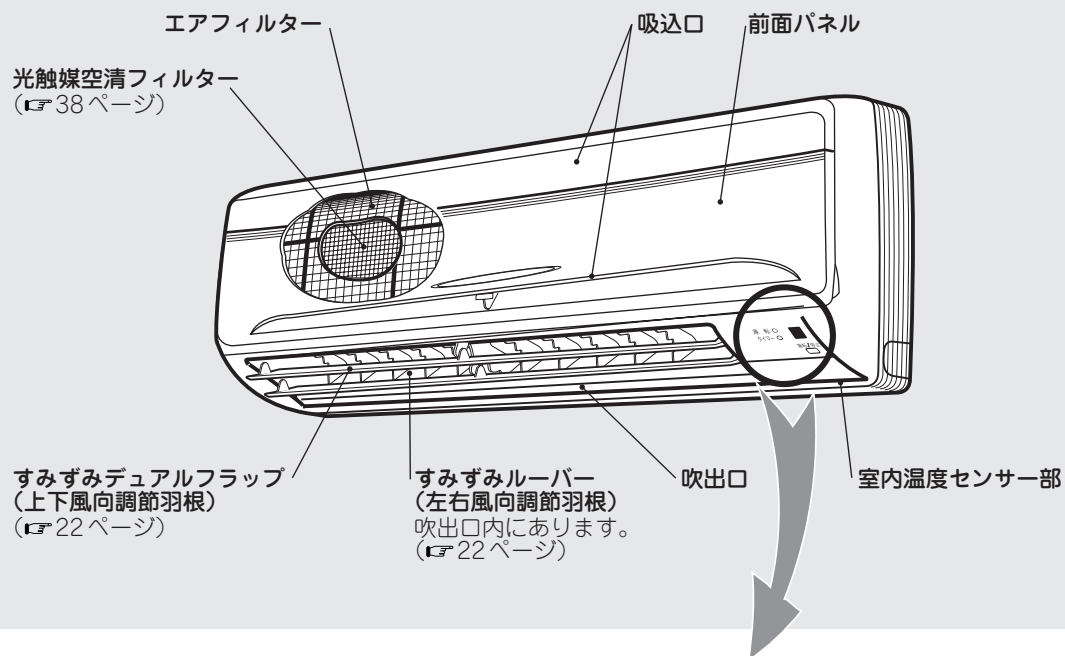


分岐ユニットカバーを取り外さないでください。

- 内部には電気配線高電圧部があり、感電の恐れがあります。
- 水分やゴミなどが故障の原因になる場合があります。

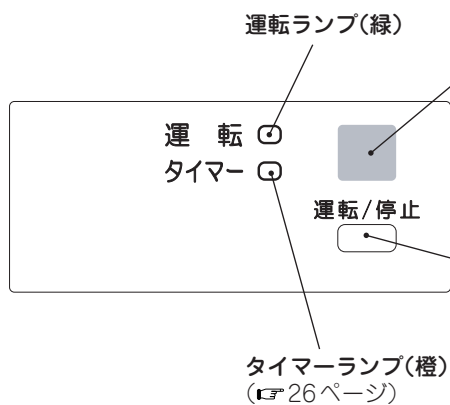
③ 室内機

■ 壁掛形 [145-7100～7111]



各部の名称とはたらき

表示部・操作部



受信部

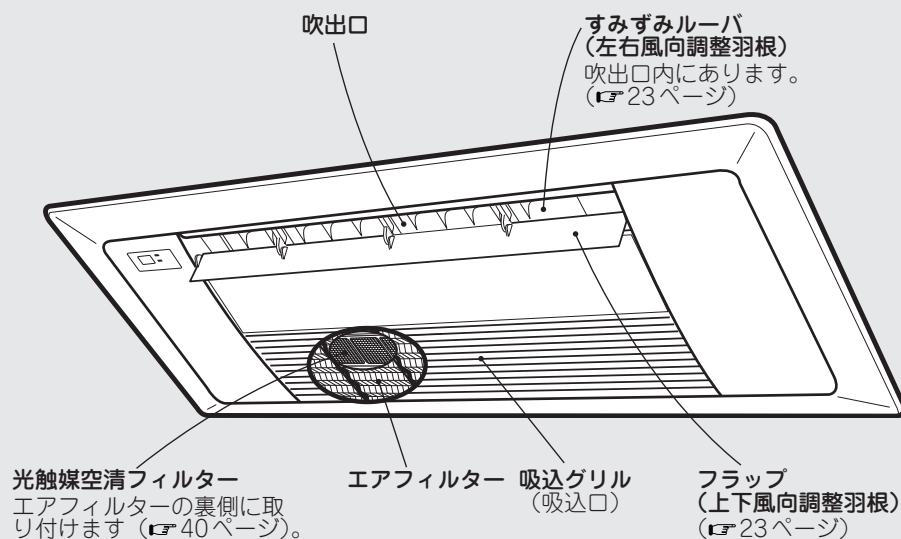
- リモコンからの信号を受ける部分です。
- 信号を受けると、受信音と同時に運転ランプが点滅し、受信を確認できます。
 - ・ 運転開始…ピッピッ♪
 - ・ 設定変更…ピッ♪
 - ・ 運転停止…ピー♪

運転/停止ボタン

- 押すと運転を開始し、もう一度押すと停止します。
- 運転内容は「自動」、風量は「風量自動」に設定されます (P.20 ページ)。
- リモコンが見つからない時などにご使用ください。

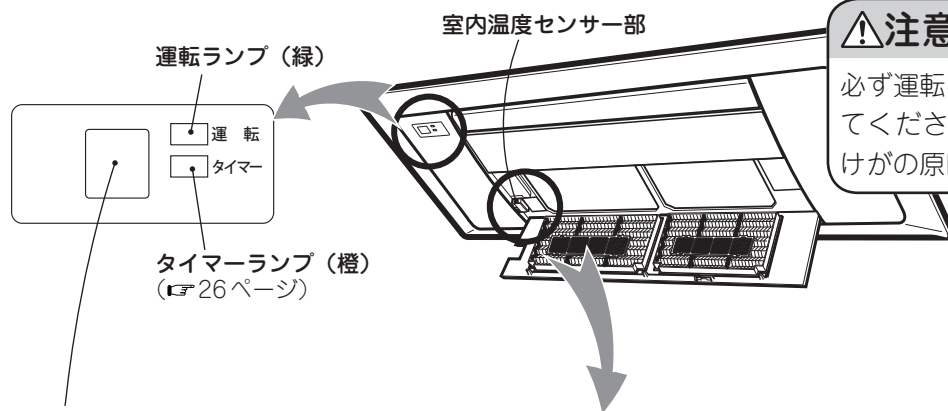
③室内機（つづき）

■ 天井カセット形 [145－7120～7123]



各部の名称とはたらき

表示部・操作部



吸込グリルの開け方

40ページを参照してください。

⚠注意

必ず運転を停止し、ブレーカを切っ
てください。ファンが回転すると、
けがの原因となります。

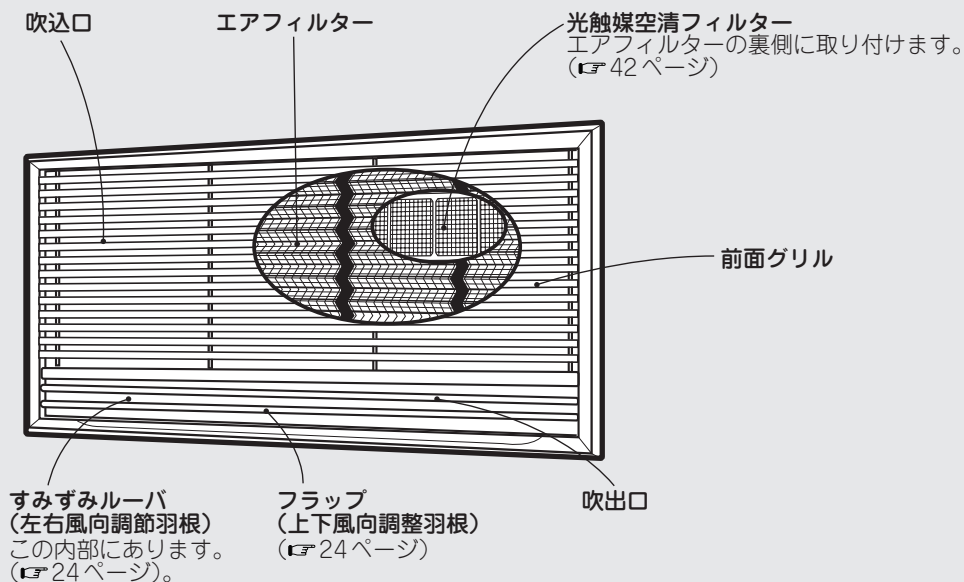
受信部

- リモコンからの信号を受ける部分
です。
- 信号を受けると、受信音と同時に
運転ランプが点滅し、受信を確認
できます。
 - ・ 運転開始…ピッピッ♪
 - ・ 設定変更…ピッ♪
 - ・ 運転停止…ピー♪

応急運転スイッチ

- 押すと運転を開始し、もう一度押
すと停止します。
- 運転内容は「自動」、風量は「風
量自動」に設定されます。
(P.20ページ)
- リモコンが見つからない時など
にご使用ください。

■ 壁埋込形 [145－7130～7133]



各部の名称とはたらき

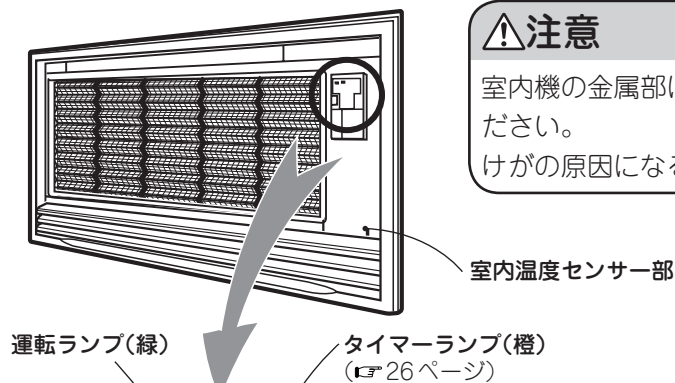
表示部・操作部

前面グリルの開け方

42 ページを参照してください。

⚠注意

室内機の金属部に手を触れないでください。
けがの原因になることがあります。

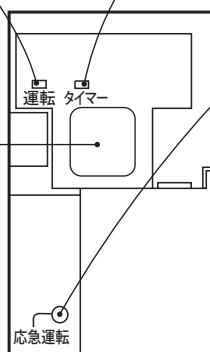


受信部

- リモコンからの信号を受ける部分です。
- 信号を受けると、受信音と同時に運転ランプが点滅し、受信を確認できます。
 - ・ 運転開始…ピッピッ♪
 - ・ 設定変更…ピッ♪
 - ・ 運転停止…ピー♪

応急運転スイッチ

- 押すと運転を開始し、もう一度押すと停止します。
- 運転内容は「自動」、風量は「風量自動」に設定されます。
(P.20 ページ)
- リモコンが見つからない時などにご使用ください。



③室内機（つづき）

■ 隠ぺい形（天井埋込形兼用）[145－7140～7143]

半間幅押入れ下(上)設置の場合

（下図は上設置の場合です）

光触媒フィルターユニット（別売品）
（P 43 ページ）

吸込グリル（吸込口）

ルーバ（左右風向調節羽根）
この内部にあります。
（P 25 ページ）

前面グリル エアフィルター（ロングライフ）
（P 43 ページ）

光触媒空清フィルター（別売品）
エアフィルターの裏側に取り付けます（P 44 ページ）。

本体表示部・操作部
この内部にあります。

フラップ（上下風向調整羽根）
オプションでスイング付きも
あります（P 25 ページ）。

吹出グリル（吹出口）

一間幅押入れ下(上)設置の場合

フラップ（上下風向調整羽根）
（P 25 ページ）。

吹出グリル（吹出口）

本体表示部・操作部 この内部にあります。

吸込グリル（吸込口）

エアフィルター
（P 43 ページ）

天井埋込設置の場合

光触媒空清フィルター（別売品）
内部の保護網に取り付けます。
（P 46 ページ）

光触媒フィルターユニット（別売品）
（P 45 ページ）

吹出グリル
（吹出口）

フラップ（上下風向調整羽根）
（P 25 ページ）。

吸込グリル
（吸込口）

エアフィルター（ロングライフ）
（P 45 ページ）

本体表示部・操作部

ルーバ（左右風向調節羽根）
（P 25 ページ）

表示部・操作部

※本体表示部・操作部の位置は機種により
異なりますので、上図を参照してください。

応急運転スイッチ

- 押すと運転を開始し、もう一度押すと停止します。
- 運転内容は「自動」、風量は「風量自動」に設定されます。
（P 20 ページ）
- リモコンが見つからない時などに
ご使用ください。

吸込グリルの開け方（半間幅、一間幅押入れ下(上)設置の場合）

43 ページを参照してください。

タイマーランプ（橙）
（P 26 ページ）

オプションランプ（緑）
光クリーン運転（オプション）時に点灯します。

受信部

- リモコンからの信号を受ける部分
です。
- 信号を受けると、受信音と同時に
運転ランプが点滅し、受信を確認
できます。
 - ・ 運転開始…ピッピッ♪
 - ・ 設定変更…ピッ♪
 - ・ 運転停止…ピー♪

室内温度センサー部 室内湿度センサー部

3

運転の基本操作

①リモコンの準備	18
②自動・ドライ・冷房・暖房・送風 運転	20
③風向の調節	22
④タイマー運転	26
⑤その他の運転	28
⑥運転の組み合わせ	31

① リモコンの準備

リモコンの各部の名称とはたらき

※1 表示部

運転状態を表示します
(図は全て表示していません)。

パワフルボタン

28 ページ参照

かんたん切タイマーボタン

26 ページ参照

送信部

信号を送ります。

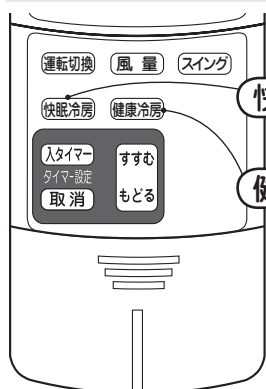
温度調節ボタン

温度を調節します。

運転/停止ボタン

押すと運転。もう一度
押すと停止します。

壁掛形



快眠冷房ボタン

29 ページ参照

健康冷房ボタン

29 ページ参照

リモコンの
ふたを開ける



隠ぺい形



光クリーンボタン

30 ページ参照

※1 傷つき防止のため、表示部には保護シートを貼っています。
使用時はシートをはがしてください。

(各機種共通のリモコンボタン)

運転切換ボタン

運転の内容を選びます。
(自動・ドライ・冷房・
暖房・送風)

入タイマー設定ボタン

入タイマー時間を設定
します。

風量ボタン

風量を調節します。

入タイマーボタン

27 ページ参照

スイングボタン

22 ページ参照

タイマー取消ボタン

タイマー予約を取り消
します。

上下スイングボタン

23 ページ参照

左右スイングボタン

23 ページ参照

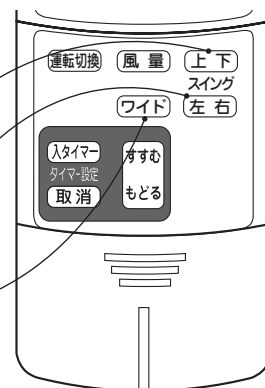
ワイドボタン

23 ページ参照

壁埋込形



天井カセット形

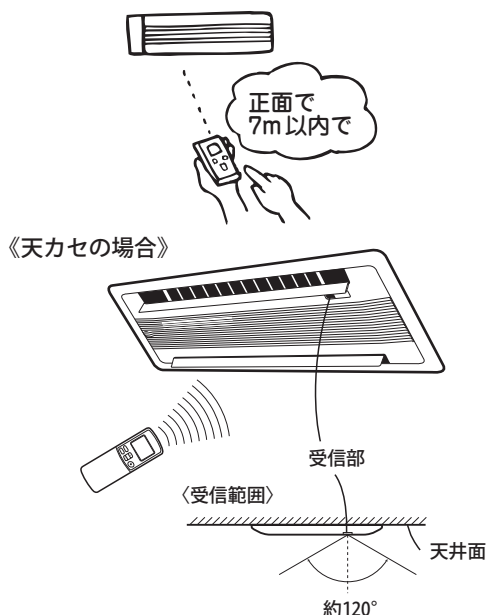


※2 加湿機能はありません。
(加湿機能についてはオプション
品設定しておりません)

リモコンの使い方

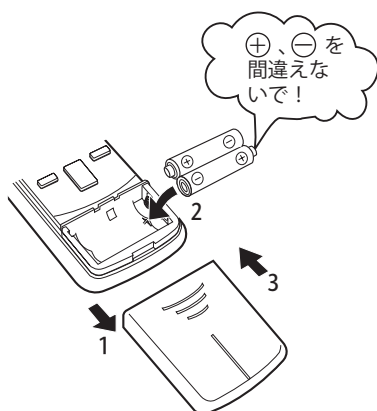
使 い 方

- リモコンの送信部を室内機の受信部に向けてください。カーテンなど信号をさえぎるものがあると作動しないことがあります。
- リモコンを落としたり、中に水が入らないようにしてください（液晶部が破損することがあります）。
- 送信できる距離は約7mです。



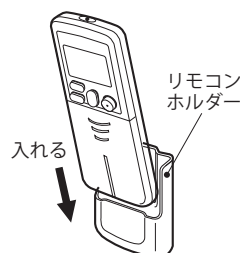
乾電池の入れかた

- 1 ふたを手前に引く。
- 2 単4形アルカリ乾電池を2個入れる。
- 3 もとどおりにふたを閉める。



壁などに取り付ける場合

- 1 信号が受信される場所を選ぶ。
- 2 リモコンホルダーを付属のネジで、壁・柱などに取り付ける。
- 3 リモコンをリモコンホルダーに入れる。



■ 乾電池について

- 付属の乾電池は、最初にお使いいただくために用意しているものです。エアコンの製造年月によっては、1年に満たないうちに消耗することがあります。
- 交換の目安は約1年ですが、リモコンの表示部が薄くなり受信されにくくなりましたら、新しいアルカリ乾電池と交換してください。
- 乾電池は、2本同時に同種の新しいものと交換してください。
- 乾電池の「使用推奨期限」に近いものは、交換時期が早くなる場合があります。
- 液漏れや破裂による故障やけがを避けるため、長期間ご使用にならない場合は乾電池を取り出してください。
- 電池を破棄するときは、端子をテープ等で巻き付けて絶縁してください。他の金属や電池と混じると発熱・破裂・発火の原因となります。
- 電池は、お近くの電器店、時計店、カメラ店などにある電池回収箱に入れてください。

■ リモコンについて

- 電子式点灯方式の蛍光灯（インバーター蛍光灯など）や液晶テレビなどの電子機器がある部屋では信号を受けつけにくい場合があります。このようなときには、販売店にご相談ください。
- 同じ部屋に室内機を2台設置する場合、混信する場合があります。そのような場合は、リモコンを室内機に近付けてお使いください。
- リモコンで他の電気機器が作動する場合は、電気機器を離すか、販売店にご相談ください。

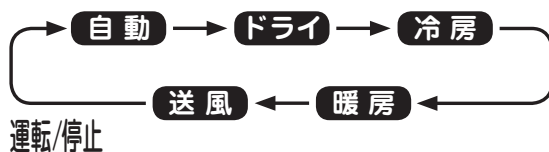
② 自動・ドライ・冷房・暖房・送風 運転

自分に合ったお好みの運転を選んでください。
一度設定すると、次回からは同じ運転ができます。

運転をはじめる時

1 運転切換 を押し運転内容を選びます。

- 押すごとに運転内容が切り変わります。



2 ○ を押し、運転を開始します。

- 運転ランプが点灯します。

停止したい時

運転/停止

3 ○ を、もう一度押します。

- 運転ランプが消灯します。

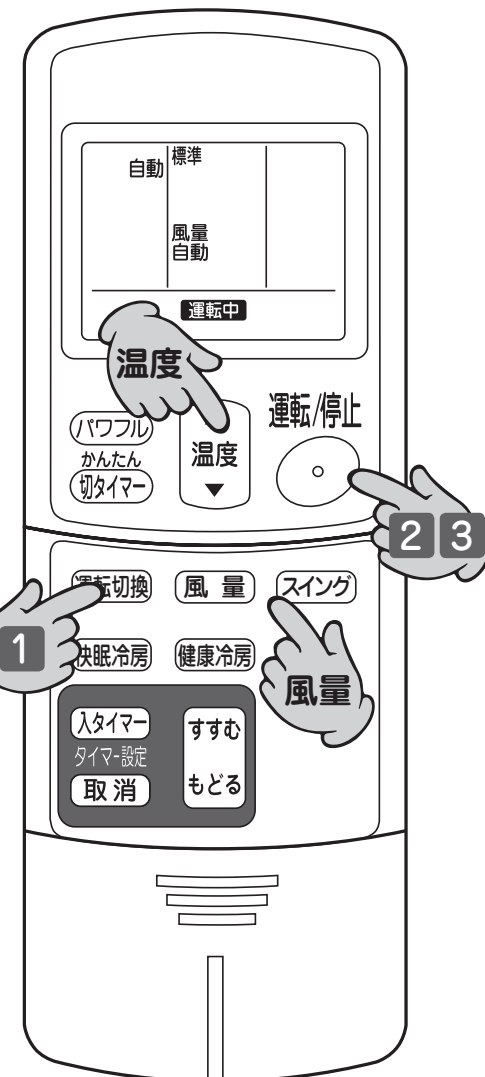
⚠ 注意

運転開始の6時間前には、必ず室外機の電源を入れておいてください。これを怠るとコンプレッサの破損の原因となります。

※ 気温・湿度等、運転可能な条件の範囲については、34ページを参照してください。

自動運転について

- 自動運転は、運転開始時の室内温度、屋外温度に応じて、自動で設定温度と運転内容（ドライ、冷房、暖房のいずれか）を選びます。
- 設定温度と運転内容はその後定期的に見直します。
- すでに他室内機が運転されている場合、運転内容は他室内機と同じになります。



上のリモコン図は壁掛け形です。

暖房運転について

- 暖房運転中、室外機に霜が付くと能力が低下するため、霜を取り除く運転（除霜運転）をします。
- 除霜運転中、室内機からは温風がでません。

温度・風量を変えたい時

「ドライ」とは、弱めの冷房運転と停止を繰り返して湿気を取る機能です。

運転内容 変更したい設定	自 動	ドライ	冷 房	暖 房	送 風
▲ 温度 ▼	±5℃の範囲で 変更できます。 「－5℃」 ～標準～ 「＋5℃」	±2℃の範囲で 変更できます。 「－2℃」 ～標準～ 「＋2℃」	温度を変えることができます。 下記温度を参考にしてください。 おすすめの温度 冷房時…26℃～28℃ 暖房時…20℃～22℃		温度は 変えられません。
風 量	「自動」 または 「しずか」	「自動」 になります。	「自動」または「しずか」のほか、 「微」から「強」まで5段階で選べます。 風量 微・弱・強		

- 「しずか」や「微」など、少ない風量で冷房・暖房運転すると、充分冷えない・暖まらないことがあります。

風向を変えたい時

風向の調節については、
22ページからの各機種の説明を
参照してください。

知っておいて いただきたい こと

先に運転している別の室内機があり、その室内機と運転内容が異なっている場合には、運転しないことがあります。このとき、運転ランプが点滅し、待機状態であることをお知らせします。

- (例)
- 他室内機がドライ・冷房運転中の暖房運転
 - 他室内機が暖房運転中のドライ・冷房・送風運転

- 「風量自動」に設定してから、ドライ・冷房運転を開始すると、室内機の中にこもったイヤな臭いを抑えてから風を送り出す機能が働きます。

⚠注意

電源を入れてから室外機－室内機間の通信が確立するまで、10分程度かかる場合があります。

通信が確立していない状態で運転すると、

- 通信が確立し、室外機が運転するまで、冷えない/暖まらない。

- 通信異常となり、室内機の運転ランプが点滅して運転しない。

となる場合があります。その場合は、一度運転を停止し、しばらく待ってから再度運転してください。

ドライ運転について

- ドライ運転開始時の室温を少し下げながら湿気を取り除きます。
- リモコン設定温度と除湿効果、室内温度は次のような関係があります。お好みに合わせて調節ください。

設定温度 (リモコン表示)	－2・標準・＋2
除湿効果	高 い ← → 低 い
室内温度	下がる ← → ほとんど 同 じ

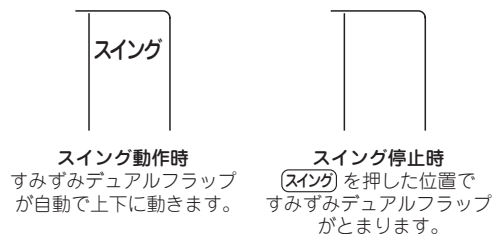
③風向の調節

■ 壁掛形 [145－7100～7111]

上下の風向を変える

1 運転中に **スイング** を押します。

- 1 すみずみデュアルフラップが自動で上下にスイングを始めます。
- 2 もう一度押すと、すみずみデュアルフラップが止まります。フラップは停止させた時の位置で止まりますので、お好みに調整してください。



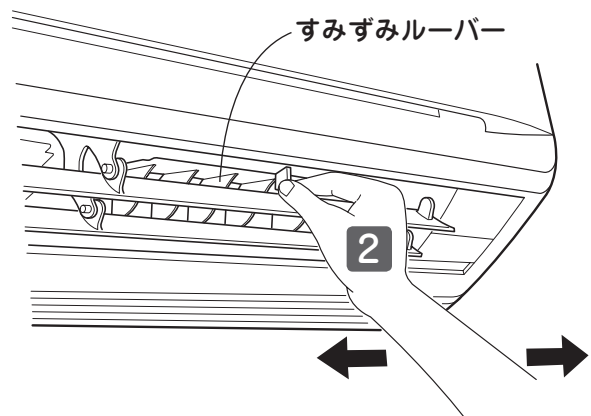
⚠注意

上下の風向調節は必ずリモコンで行ってください。無理に手で操作すると、正しく動かなくなることがあります。

左右の風向を変える

2 すみずみルーバー（左右風向調節羽根）のツマミをもって、少し下に下げながら左右に動かします。

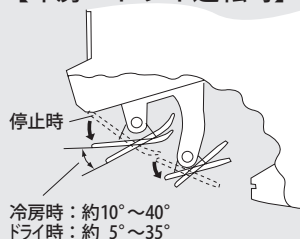
- 左右1ヵ所ずつあります。



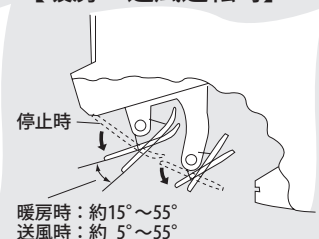
上下の風向調節について

- すみずみデュアルフラップが自動で上下に動いている時、その動く範囲は運転内容に応じて異なります。風向の設定可能範囲はおおよそ右図のような角度の範囲です。
- 上下の風向を固定する場合、冷房・暖房効果を高めるために、暖房運転時はすみずみデュアルフラップを下向きに、冷房・ドライ運転時は水平に近い状態でご使用ください。

【冷房・ドライ運転時】



【暖房・送風運転時】



■ 天井カセット形 [145 - 7120 ~ 7123]

上下の風向を変える

1 運転中に **上下** を押します。

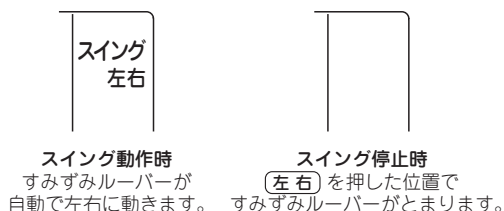
- 1 フラップが自動で上下にスイングを始めます。
- 2 もう一度押すと、フラップが止まります。フラップは停止させた時の位置で止まりますので、お好みに調整してください。



左右の風向を変える

2 運転中に **左右** を押します。

- 1 すみずみルーバーが自動で左右にスイングを始めます。
- 2 もう一度押すと、フラップが止まります。すみずみルーバーは停止させた時の位置で止まりますので、お好みに調整してください。



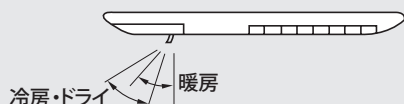
⚠注意

上下・左右の風向調節は必ずリモコンで行ってください。無理に手で操作すると、正しく動かなくなることがあります。

- 上下・左右・ワイド吹きのスイングは、同時には設定できません。

上下の風向調節について

- フラップが自動で上下に動いている時、その動く範囲は運転内容に応じて異なります。



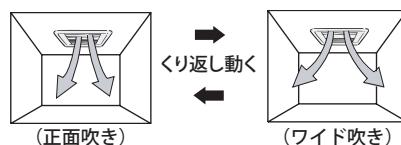
- 上下の風向を固定する場合、冷房・暖房効果を高めるために、暖房運転時はフラップを下向きに、冷房・ドライ運転時は斜め方向でご使用ください。

ワイド吹きを使う

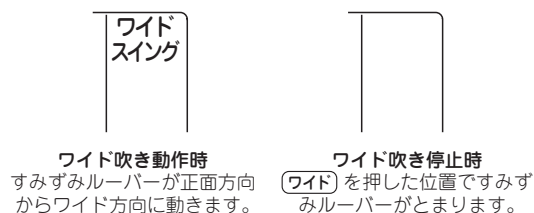
ワイド吹きにすると、風を左右同時に吹き分けます（吹き分け角度は、お好みにより設定できます）。

3 運転中に **ワイド** を押します。

- 1 すみずみルーバーが、正面吹き方向からワイド吹き方向に自動的に繰り返し動き始めます。



- 2 もう一度押すと、すみずみルーバーの動きが止まります。すみずみルーバーは停止させた時の位置で止まりますので、お好みに調整してください。



■ ワイド吹きを取り消したい時

4 もう一度 **左右** を押します。

- 通常の左右スイングに戻ります（すみずみルーバーが自動で左右に動きます）。



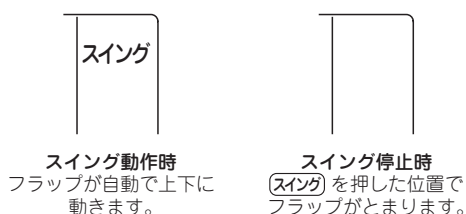
③風向の調節（つづき）

■ 壁埋込形 [145－7130～7133]

上下の風向を変える

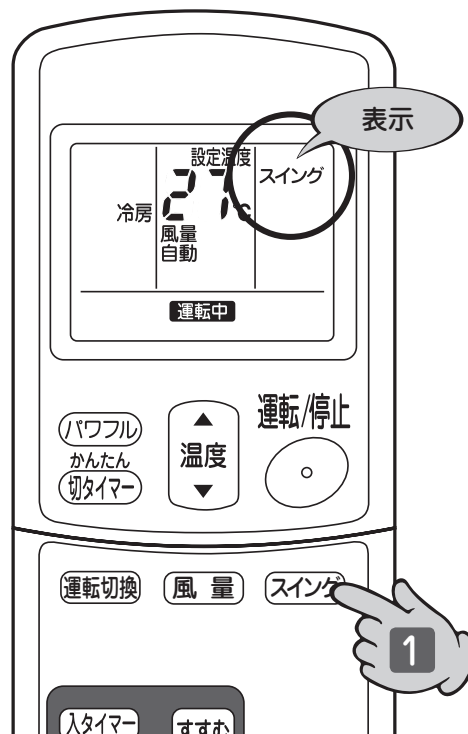
1 運転中に「スイング」を押します。

- 1 フラップが自動で上下にスイングを始めます。
- 2 もう一度押すと、フラップが止まります。フラップは停止させた時の位置で止まりますので、お好みに調整してください。



⚠注意

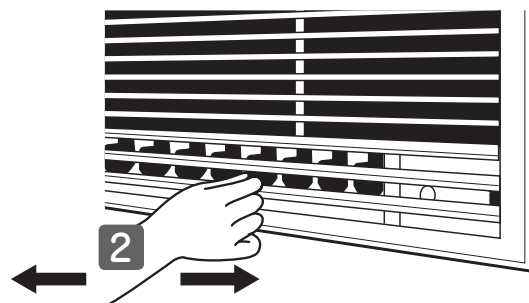
上下の風向調節は必ずリモコンで行ってください。無理に手で操作すると、正しく動かなくなることがあります。



左右の風向を変える

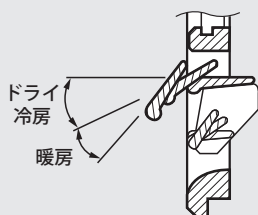
2 すみずみルーバー（左右風向調節羽根）のツマミをもって、左右に動かします。

- 左右1ヵ所ずつあります。



上下の風向調節について

- フラップが自動で上下に動いている時、その動く範囲は運転内容に応じて異なります。



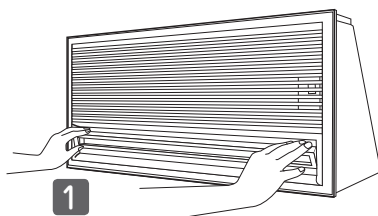
- 上下の風向を固定する場合、冷房・暖房効果を高めるために、暖房運転時はフラップを下向きに、冷房・ドライ運転時は斜め方向でご使用ください。
- 冷房・ドライ運転時にフラップを下向きで運転されますと、露が付くのを防止するため、自動でフラップの角度が変わります。

■ 隠ぺい形（天井埋込形兼用）[145－7140～7143]

上下の風向を変える

■ 手動グリルの場合

- 1 前面グリル吹出口の上下風向調節羽根の両端を持ち、上下に動かして風向を調節してください。



（図は半間幅押入れ上設置の場合）

設置場所	冷房 ドライ時	暖房時
半間幅および一間幅 押入れ下設置	上吹出し	水平吹出し※
半間幅および一間幅 押入れ上設置	水平吹出し	下吹出し

※実際は水平やや上吹出しとなります。

- 一間幅押入れ下(上)設置および天井埋込カセットビルトイン設置の場合、各羽根はすべて同じ方向にしてください。
- 自動運転時は、各運転モードにより選択してください。

⚠注意

- 室内機の金属部に手を触れないでください。けがの原因になることがあります。
- 押入れ上設置、下り天井設置および天井埋込カセットビルトイン設置の場合は、丈夫で安定している台を使用し、足元に十分注意してください。
- 羽根の調節は緩やかに行ってください。
- 必ず運転を停止し、ブレーカを切ってください。

上下の風向調節について

- 一間幅押入れ上設置および天井埋込みカセットビルトイン設置の場合で、冷房・ドライ運転時に、下向き吹出しで使用されますと、吹出口の表面に霜がつき、滴下することがあります。
- 一間幅押入れ上設置時に、暖房運転中足下が寒い場合には、上下風向羽根を右図のように引き出してお使いいただくと、よりいっそう暖房効果が高まります。



■ スイング付グリルの場合（オプション）

半間幅押入れ上（下）設置の場合のみ、スイング付グリルの組み込みが可能です。

- 2 運転中に **スイング** を押します。



- 1 上下風向調整羽根が自動で上下にスイングを始めます。
- 2 もう一度押すと、スイングが止まります。

	天袋設置	地袋設置
冷 房	水平～下20°	上20°～40°
暖 房	上16°～36°	上16°～36°
ドライ	水平～下10°	上30°～40°

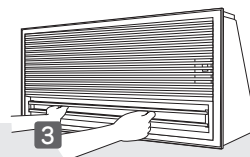
⚠注意

- 上下の風向調節は必ずリモコンで行ってください。無理に手で操作すると、正しく動かなくなることがあります。

左右の風向を変える

- 3 左右風向調節羽根をもって、左右に動かします。

- 各羽根は1枚ずつ操作してください。



左右の風向調節について

- お部屋の端に設置されている場合には、各羽根をお部屋の中央に向けてご使用ください（中央に向けずにご使用になりますと、お部屋全体がよく冷えない・暖まらないことがあります。

オプションボタンについて

- 光クリーン、スイング機能についてはオプション品です。加湿機能はありません。（加湿機能については、オプション品設定しておりません）

④ タイマー運転

おやすみ前やおめざめの時間に合わせてご使用になると便利です。
かんたん切タイマーと入タイマーを組み合わせることもできます。

かんたん切タイマーを設定する

1 運転中に **切タイマー** を押します。

- 室内機本体のタイマーランプが点灯し、リモコン表示部の左下にも、切タイマー設定時間が表示されます。

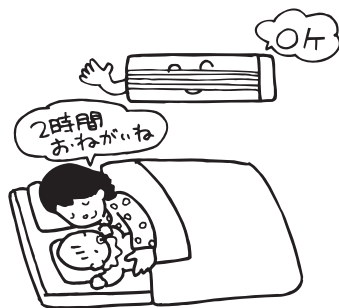
2 続けて **切タイマー** を押すと、 1 時間刻みで OFF 時間が変わります。 好みの時間に設定してください。

- 最長9時間まで設定できます。

予約の取り消し

3 **取消** を押します。

- 室内機本体のタイマーランプが消灯し、リモコンの表示も消えます。



上のリモコン図は
壁掛形です。

かんたん切タイマー運転について

- かんたん切タイマー運転を開始すると、1時間後に設定温度を自動的に変え（冷房時：0.5℃上がる、暖房時：2℃下がる）、冷やし過ぎ、暖め過ぎを防いで快適な睡眠を守ります。
- かんたん切タイマーを予約した場合、設定した時間よりもタイマーの切れる時間がずれることがあります。

入タイマー運転について

- 入タイマーを予約すると、その時間にリモコンの設定温度になるように最長1時間前から運転を始めます。
- 一度入タイマーを予約すると、予約された時間は次回も記憶されています（リモコンの電池を交換すると、記憶内容は消えます）。

入タイマーを設定する

1 入タイマーを押します。

- 室内機本体のタイマーランプが点灯し、リモコン表示部の右下に、入タイマーの設定時間が表示されます。

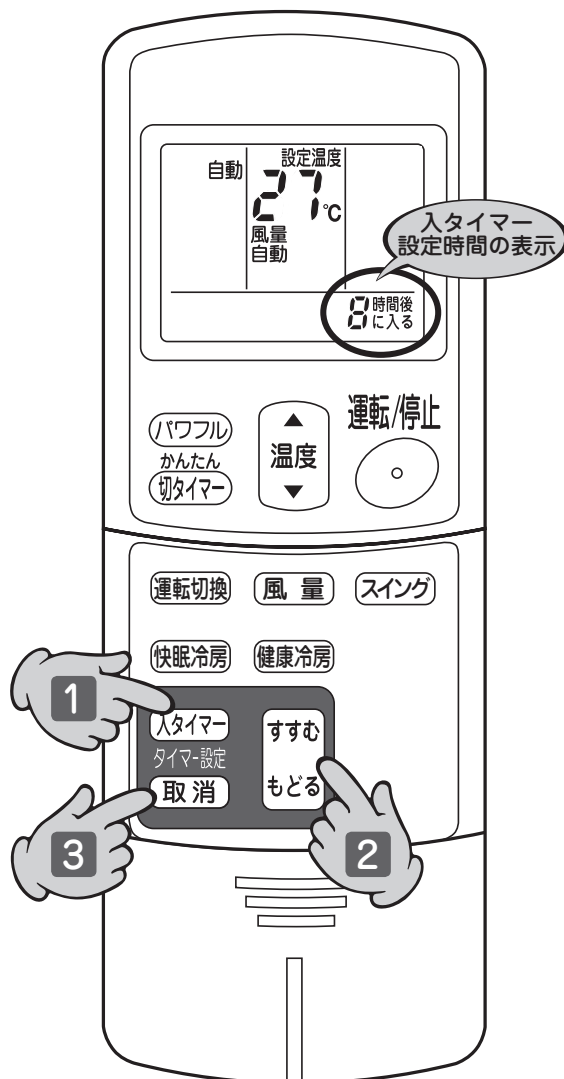
2 続けて すすむ もどる を押すと、 1時間刻みでON時間が変わります。 好みの時間に設定してください。

- 最長12時間まで設定できます。
- 入タイマーを続けて押しても、タイマー時間を変更できます。

予約の取り消し

3 取消を押します。

- 室内機本体のタイマーランプが消灯し、リモコンの表示も消えます。



上のリモコン図は
壁掛形です。

組み合わせ予約について

- かんたん切タイマーと入タイマーを組み合わせで予約する場合、下の例を参考に行ってください。

(例) 現在、エアコンは運転中。引き続き1時間だけ運転、それから7時間停止させたあと、運転を再度始めたいとき。



※かんたん切タイマーも入タイマーも、タイマー予約する時点を基準にして予約します。

⚠注意

次のような場合には、タイマーの設定をやりなおしてください。

- ・ブレーカーが作動したとき
- ・停電したとき
- ・リモコンの電池を交換したとき

⑤ その他の運転

■ パワフル運転

冷房・暖房時の能力をパワーアップし、すばやく快適な室温にします。
冬の寒さの厳しい日や帰宅時、夏のお風呂上りなどにおすすめします。

パワフル運転にする

1 運転中に **パワフル** を押します。

- パワフル運転は、約20分で自動的に通常運転に戻ります。
- 風向を変えたいとき（**22～25** ページ）
※風量や温度の変更はできません。

パワフル運転の取り消し

2 もう一度 **パワフル** を押します。

- 通常の運転に戻ります。



右のリモコン図は
壁掛形です。

パワフル運転について

- 暖房運転時、風量がアップするため、通常より吹出し温度が、低くなる場合があります。
- お好みに合わないときは、運転内容を変えてください。（**20** ページ）



■ 健康冷房

《壁掛形のみ》

屋外と室内の温度差に気をくばり、体にやさしい冷房運転をします。

健康冷房にする

1 冷房運転中に **健康冷房** を押します。

※温度の変更はできません。

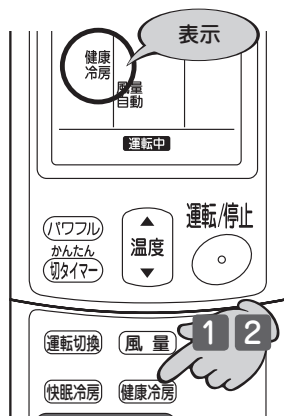
また、風量は自動となります。

- 風向を変えたいとき (P.22 ページ)

健康冷房の取り消し

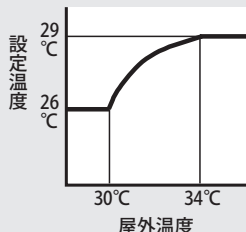
2 もう一度 **健康冷房** を押します。

- 通常の冷房運転に戻ります。



健康冷房について

- 室内と屋外を出入りするときに、温度差が大きいと体調悪化の原因となることがあります。これを防ぐため、屋外温度と室内温度の差が、体にやさしい温度差となるよう、エアコンが設定温度を自動で決めます。



- 屋外温度が高いときは設定温度も高くなりますので、あつく感じる場合があります。
- お好みに合わないときは、運転内容を変えてください。(P.20 ページ)

■ 快眠冷房

《壁掛形のみ》

体に自然なゆらぎの温度で、心地よい眠りを誘います。

快眠冷房にする

1 冷房運転中に **快眠冷房** を押します。

- 温度を変えたいとき (P.21 ページ)
- 風量を変えたいとき (P.21 ページ)
- 風向を変えたいとき (P.22 ページ)

快眠冷房の取り消し

2 もう一度 **快眠冷房** を押します。

- 通常の冷房運転に戻ります。



快眠冷房について

- 自然の中に存在する快適さのリズム『1 / f ゆらぎ』をエアコンに応用しました。設定温度と設定温度より1℃高めの温度との間をこの『1 / f ゆらぎ』のリズムにもとづいてコントロールし、心地よい眠りを誘います。
- 風量を「自動」に設定すると、「微」と同じ風量で運転をします。
- お好みに合わないときは、運転内容を変えてください。(P.20 ページ)

⑤ その他の運転（つづき）

■ 光クリーン運転 《隠ぺい形のみ》 《オプション》

オプションの「光触媒フィルターユニット」による、光クリーン運転を行います。

光クリーン運転にする

1 運転中に **光クリーン** を押します。

- オプションランプが点灯します。

光クリーン運転の取り消し

2 もう一度 **光クリーン** を押します。

- 通常の運転に戻り、オプションランプが消灯します。

⚠注意

点灯中の特殊ランプを間近で長時間見つめないでください。目が痛くなるおそれがあります。



- 温度を変えたいとき（P.21 ページ）
- 風量を変えたいとき（P.21 ページ）
- 風向を変えたいとき（P.25 ページ）

光クリーン運転について

- 光触媒フィルターに特殊ランプの光を当てることにより、強力な酸化作用で、光触媒フィルターで捕集した細菌やウイルスを強力除去させます。また、タバコやペット臭など、悪臭成分を強力に分解します。
- 特殊ランプの光が、吸込口を通して見えることがあります。見つめないように注意してください。
- 特殊ランプの消費電力は約6ワットです。

⑥ 運転の組み合わせ

- 1 台の室外機で複数台の室内機を接続して運転できます。
- 1 部屋だけでも、複数のお部屋でも、お部屋の必要に応じて運転することができます。
- 次の組み合わせで運転を行うことはできません。

一方の室内機	他方の室内機
暖 房	冷 房
暖 房	ドライ
暖 房	送 風

- 先に運転した室内機はそのまま運転を続けますが、後から運転した室内機は運転ランプは点滅しますが、運転は行いません。
- 後の室内機を運転したいときは、先に運転している室内機を一旦停止にし、運転の種類を設定しなおしてから、あらためて運転を行ってください。
- 同時運転可能容量を越えた場合及び同時運転可能台数を越えた場合、リモコンにて運転を行っても冷暖房されない場合があります。
 - 同時運転可能容量は、室内機の冷房能力の合計が **19.8kW** 以下です。
 - 同時運転可能台数は、**最大9台** です。
 - 室内機は待機中となります。室内機の運転ランプは点滅しますが、運転は行いません。
 - 待機中の室内機を運転する場合は、運転している室内機を停止させ、同時運転可能容量内及び同時運転可能台数内にはいるようにすると自動的に運転を開始します。

MEMO

4

快適にお使いいただくために

①上手な使い方	34
②日常のお手入れ	36
③シーズン始め・終わりのお手入れ	47
④故障かな？と思ったら	48
⑤アフターサービスと保証	51
⑥定期メンテナンスについて	52
⑦安全銘板と取付位置	53

①上手な使い方

機能を十分に発揮させ、快適にご使用いただくために、
次のことをお守りください。

■次の範囲でお使いください

運転モード \ 条 件	室 外 温 度	室 内 温 度
冷 房	10℃以上 43℃以下（乾球）	21～32℃（乾球） （室内湿度 80% 以下）
暖 房	-10℃以上 26℃以下（乾球）	27℃以下（乾球）
ド ラ イ	10℃以上 43℃以下（乾球）	18～32℃（乾球） （室内湿度 80% 以下）

上記範囲外で運転を続けると、安全装置が働き、運転が停止する場合があります。
また、室内機に露が付き、滴下する場合があります（冷房・ドライ運転）。

■室内温度は適温に

温度調整は下記の温度に設定してご使用ください。

冷房：室内温度 26～28℃

暖房：室内温度 20～22℃

冷やしすぎ、暖めすぎないように注意してください。



■フィルターの掃除はこまめに清掃してください。

エアフィルターにゴミやホコリがたまると、風量が減って冷房や暖房効果が減少したり、機械が汚れて故障のもとになります。



■窓やドアは閉めて

お部屋の窓やドアは閉めてください。

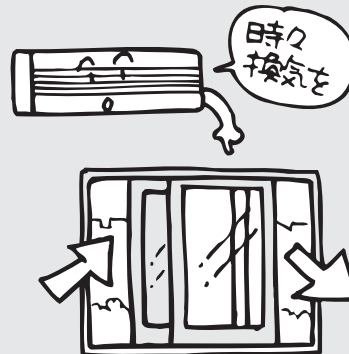
窓や扉を開けたままにしますと室内の空気が外へ逃げるため冷房および暖房効果が悪くなります。



■長時間運転ではときどき換気を

長時間運転される場合は、ときどき窓を開けて換気をしてください。

なお、扉や窓を開放したままでご使用にならないでください。吹出部などに露が付くことがあります。



い快適
にたく
にお使
ために

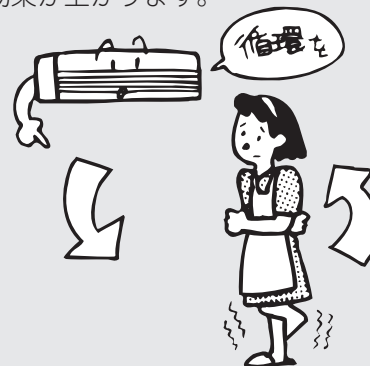
■外気熱の影響を少なく

冷房中、直射日光の当たる窓はカーテンやブラインドで日光をさえぎってください。



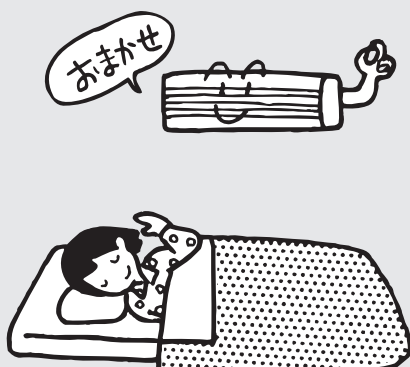
■室内空気を循環させて

暖房のとき、温風が天井にこもり足元が寒いことがあります。そのときは、サーキュレータを別途取り付けて室内空気の循環をよくすると、足元が暖くなり暖房効果が上がります。



■おやすみ時、外出時はタイマーの有効利用を

夜はおやすみタイマー運転、朝は入タイマーをセットするなど、タイマーの有効活用を行ってください。（タイマーの使い方はP.26ページ）



■手入れ用洗剤にはご注意を

ベンジン・シンナー・みがき粉などは、塗装面やプラスチックを傷めます。

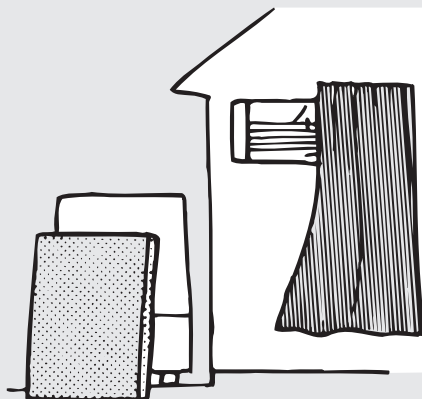
40℃以上のお湯も使わないでください。フィルターが縮んだり、プラスチックが変形することがあります。



■吹出口・吸込口はふさがらないで

室内・室外機の吹出口や吸込口を、カーテンや他の障害物でふさがらないでください。

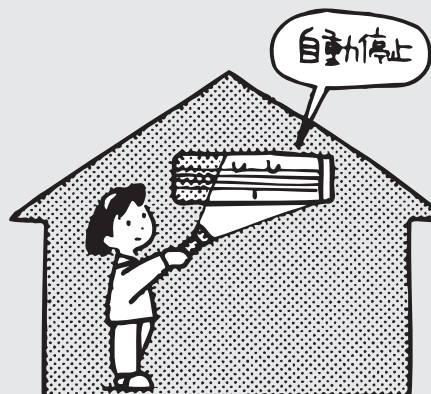
性能が低下するばかりか、故障の原因になります。



■停電の後は再び運転／停止ボタンを

運転中に停電した場合は、自動的に停止します。

停電がなおったら、運転／停止ボタンを押してください。



い 快
た 適
だ に
く お
た 使
め い
に

② 日常のお手入れ

機能を十分に発揮させ、快適にご使用いただくために、
日常のお手入れを正しく行ってください。

お手入れをする前に必ず守ってください。

⚠ 注意

- **室外機及び室内機を水やスプレー式の洗剤をかけて清掃しないでください。**
電気ショートによる火災や感電の原因になることがあります。清掃されるときは、電気部およびコネクタ部を必ず養生し、水がかからない様ご注意ください。
- **必ず電源を切ってください。**
運転中にお手入れや点検をすると感電やけがをする恐れがあります。
- **室内機の金属部に手を触れないでください。**
けがの原因になることがあります。
- **足場に気をつけてください。**
高所作業となりますので作業台が転倒せぬよう注意し、目に埃が入らないようにして作業してください。
- **清掃時以外は、室内機のエアフィルターを外さないでください。**
故障の原因となります。
- **室内機内部の洗浄はお客様自身では行わず、必ずお買い上げの販売店に相談してください。**
誤った洗浄剤の選定・使用方法で洗浄を行うと、樹脂部分が破損したり水漏れなどの原因になることがあります。また、洗浄剤が電気部品やモータにかかると故障や発煙、発火の原因になることがあります。

光触媒フィルターユニット(オプション)のお手入れ時のご注意

- **特殊ランプには高電圧が掛かっている部分があります。**
また、運転中は温度上昇します。
危険ですので、手を触れないでください。
- **点灯中の特殊ランプを間近で長時間見つめないでください。**
目が痛くなることがあります。
- **特殊ランプに強い力をかけないでください。**
破損してけがの原因になることがあります。

⚠ 注意

- **フィルターを外したまま運転しないでください。**
機械にホコリが入り、故障の原因になります。
- **フィルターの汚れがひどいまま、長時間運転しないでください。**
性能が低下するばかりか故障の原因となります。

い 快
た 適
だ に
く お
た 使
め い
に

**化粧パネル・リモコンは、
やわらかい布で、からぶきしてください。**

- 化学雑巾をご使用の際は、
その注意書きに従ってください。
- 40℃以上のお湯、ベンジン、ガソリン、
シンナーなどの揮発性のもの、みがき粉、
タワシなどのかたいものは使わないでください。

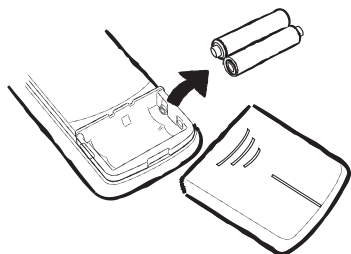


長期間(1ヵ月以上)使わないときは、次の手順でお手入れをしてください。

1 室内機の内部を乾かします。

- 晴れた日に半日ほど“送風”で運転してください。
内部がぬれたままで長期間使わないと、
カビが発生しやすくなります。

2 リモコンの電池を取り外しておいてください。



② 日常のお手入れ（つづき）

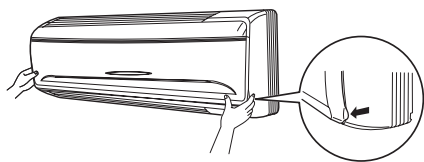
■ 壁掛形 [145－7100～7111]

エアフィルターのお手入れ

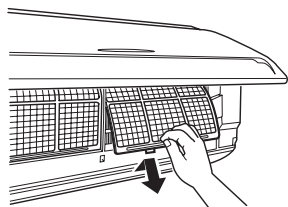
2週間に一度を目安に、お手入れ

1 エアフィルターを引き出します。

- 1 パネル突起部（左右2ヵ所）に指をかけ、パネルが止まる位置まで開けます。

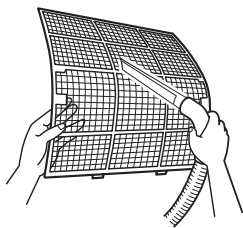


- 2 エアフィルターの中央のツマミを少し上へ押し上げ、下方向に引き出します。



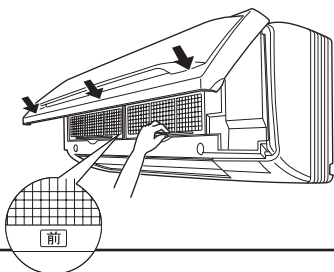
2 エアフィルターを掃除します。

水洗いするか、掃除機で吸い取ります。汚れのひどい時は、中性洗剤を溶かしたぬるま湯で洗い、日陰でよく乾かします。



3 エアフィルター、吸込グリルをもと通り取り付けます。

- 1 エアフィルターは「前」の表示を表側にして差し込みます。下2ヵ所のツメには必ず差し込んでください。
- 2 前面パネルは両端と中央部を押してください。

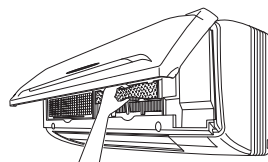


光触媒空清フィルター

6ヶ月に一度を目安に、水洗いすることで、空気清浄能力が再生します。
また、3年を目安に交換をおすすめします。

1 エアフィルターを引き出してから、光触媒空清フィルターを取外します。

光触媒空清フィルターの下側を押し上げて、ツメ（上3ヵ所、下2ヵ所）からゆっくりと取り外します。



2 お手入れまたは交換します。

《お手入れの場合》掃除機でホコリを吸い取り、軽く水洗いします。

汚れのひどいときは、中性洗剤を溶かしたぬるま湯で約10～15分漬け置き洗いします。水洗い後は、軽く水切りをし、日陰でよく乾かします。

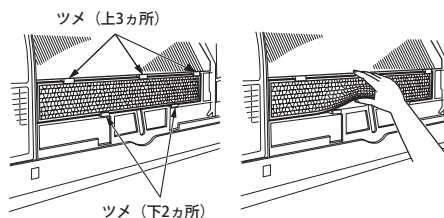
水切りの際はフィルターをしぼらないでください。

《交換の場合》新しいものと取り替え、古いフィルターは燃えるゴミとして処分してください。（材質：ポリプロピレン/紙）

詳しくはお住まいの地域のゴミ分別方法にしてください。

3 光触媒空清フィルター、エアフィルターを取り付けます。

- 1 光触媒空清フィルターの上側をツメ（上3ヵ所）に差し込み、フィルターの下側を少し押し上げて、ツメ（下2ヵ所）に入れます。



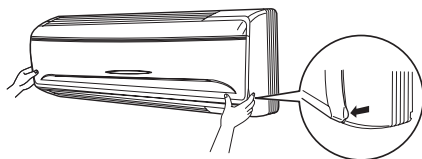
- 2 エアフィルターをもと通り取り付け、前面パネルは、両端と中央部を押して取り付けてください。

前面パネルの掃除

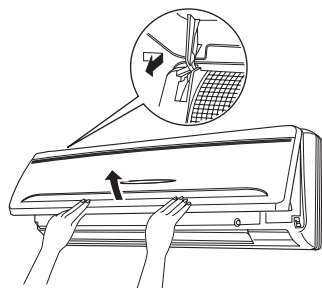
前面パネルは取外して掃除できます。

1 前面パネルを外します。

- 1 パネル突起部（左右2ヵ所）に指をかけ、パネルが止まる位置まで開けます。



- 2 さらに前面パネルを開きながら、右にスライドさせて手前に引くと、左側の回転軸が外れます。逆に右側の回転軸は、左にスライドさせ、手前に引いて外します。

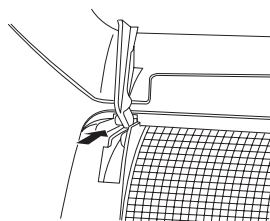


2 前面グリルを掃除します。

- 1 水を含ませた柔らかい布で軽く拭いてください。洗剤を使う場合には、中性洗剤以外は使わないでください。
- 2 水洗いをした後は、水気をよく拭き取り日陰で乾かしてください。

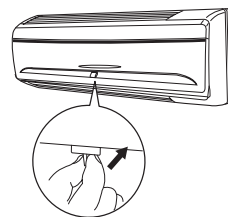
3 前面パネルを取り付けます。

- 1 前面パネルの左右の回転軸を溝に合わせて奥まで押し込みます。
- 2 そのままゆっくりと閉じてください。（前面パネルは両端と中央部を押す。）



お知らせ

前面パネルに梱包用部材がついている場合は、外してください。



⚠注意

- 前面パネルが落ちないようにしっかりと手で支えて操作してください。
- 前面パネルが確実に取り付けられていることを確認してください。

い 快
た 適
だ に
く お
た 使
め い
に

② 日常のお手入れ（つづき）

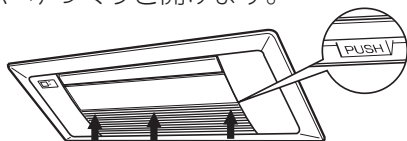
■ 天井カセット形 [145－7120～7123]

エアフィルターのお手入れ

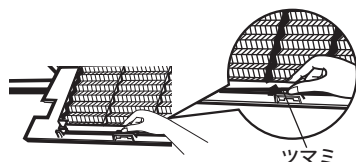
1.5ヶ月に一度を目安に、お手入れ

1 エアフィルターを取り出します。

- 1 吸込グリルにある3カ所の「PUSH」部を押し、ゆっくりと開けます。



- 2 エアフィルターの中央のツマミを押し上げ、エアフィルターを取り出します。

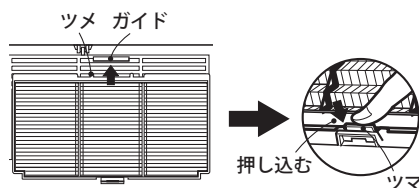


2 エアフィルターを掃除します。

- 1 光触媒空清フィルターを取り外します。
- 2 エアフィルターを水洗いするか、掃除機で吸い取り掃除します。汚れのひどい時は、中性洗剤を溶かしたぬるま湯で洗い、日陰でよく乾かします。

3 エアフィルター、吸込グリルをもと通り取り付けます。

- 1 光触媒空清フィルターを先にエアフィルターに取り付けます。
- 2 ガイドにエアフィルターのツメをはめ込み、ツマミがパチンと音がするまで押し込んでください。



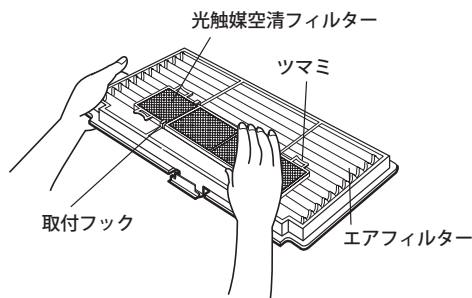
- 3 吸込グリルを閉じ、3カ所の「PUSH」部を押してグリルが正しく閉じられているか確認してください。

光触媒空清フィルター

6ヶ月に一度を目安に、水洗いすることで、
空気清浄能力が再生します。
また、3年を目安に交換をおすすめします。

1 エアフィルターを取外してから、 光触媒空清フィルターを取外します。

フィルター枠のツマミを持ち4カ所の取付けフックよりはずす。



2 お手入れまたは交換します。

《お手入れの場合》掃除機でホコリを吸い取り、軽く水洗いします。

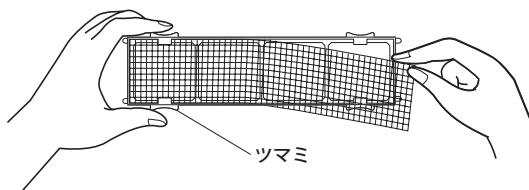
汚れのひどいときは、中性洗剤を溶かしたぬるま湯で約10～15分漬け置き洗います。水洗いの際はフィルターを枠から出さないでください。

水洗い後は、軽く水切りをし、日陰でよく乾かします。

水切りの際はフィルターをしぼらないでください。

《交換の場合》新しいものと取り替え、古いフィルターは燃えるゴミとして処分してください。（材質：ポリプロピレン/紙）

詳しくはお住まいの地域のゴミ分別方法にしたがってください。



3 光触媒空清フィルター、エアフィルターをもと通り取り付け、吸込グリルを閉じます。

吸込グリルのお手入れ

吸込みグリルは取外して掃除できます。

1 吸込グリルを取外します。

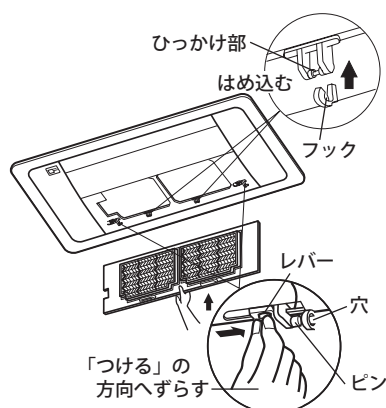
- 1 吸込グリルを開けてから、吸込グリルを片手でしっかり持ち、もう片方の手で左右2カ所のレバーを「はずす」の方向へずらしします。
- 2 吸込グリルを下へ軽く引き、取り外します。
- 3 吸込グリルからエアフィルターを取り外します。

2 吸込グリルを掃除します。

中性洗剤を溶かしたぬるま湯または水を布に含ませて軽く汚れを拭き取ってください。汚れがひどい時は丸洗いし、水気をよく拭き取り、日陰で乾かしてください。

3 吸込グリルを取り付けます。

- 1 吸込グリルにエアフィルターを取り付けます。
- 2 2カ所ひっかけ部に吸込みグリルのフックをはめ込みます。
- 3 吸込グリルを手でしっかり持ち、もう片方の手で左右のレバーを「つける」の方向へずらし、ピンが穴に確実に入っていることを確認して、最後に吸込みグリルを閉じます。



⚠注意

- 吸込グリルが落ちないように、しっかりと手で支えて操作してください。
- 吸込グリルが確実に取り付けられていることを確認してください。

い 快
た 適
だ に
く お
た 使
め い
に

② 日常のお手入れ（つづき）

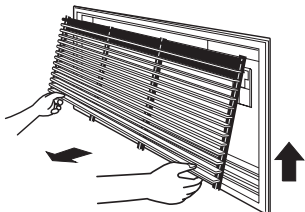
■ 壁埋込形 [145-7130～7133]

エアフィルターのお手入れ

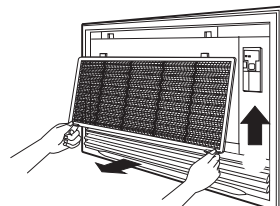
1ヶ月に一度を目安に、お手入れ

1 エアフィルターを取り外します。

- 1 前面グリルの両側をつまみ、上方向に軽く持ち上げながら、手前に引きます。



- 2 エアフィルターをつまみを持って上方向へ軽く持ち上げ、手前に引きます。

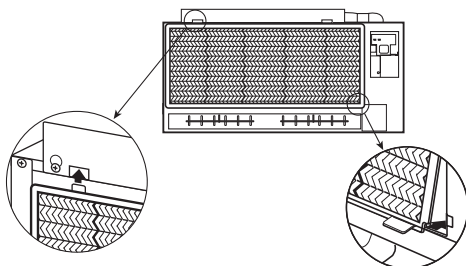


2 エアフィルターを掃除します。

- 1 光触媒空清フィルターを取り外します。
2 エアフィルターを水洗いするか、掃除機で吸い取り掃除します。汚れのひどい時は、中性洗剤を溶かしたぬるま湯で洗い、日陰でよく乾かします。

3 エアフィルター、前面グリルをもと通り取り付けます。

- 1 光触媒空清フィルターを先にエアフィルターに取り付けます。
2 上下の穴にエアフィルターのツメを入れ、もと通り前面グリルを取り付けます。



⚠ 注意

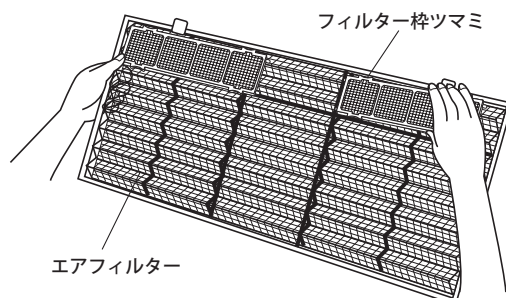
- 前面グリルが落ちないように、しっかりと手で支えて操作してください。
- 前面グリルが確実に取り付けられていることを確認してください。

光触媒空清フィルター

6ヶ月に一度を目安に、水洗いすることで、空気清浄能力が再生します。
また、3年を目安に交換をおすすめします。

1 エアフィルターを取外してから、光触媒空清フィルターを取外します。

フィルター枠のツマミを持ち4カ所の取付けフックよりはずす。



2 お手入れまたは交換します。

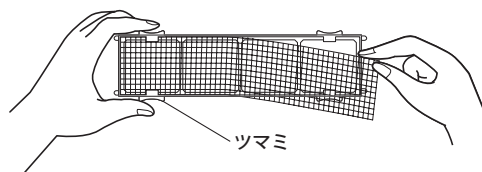
《お手入れの場合》掃除機でホコリを吸い取り、軽く水洗いします。

汚れのひどいときは、中性洗剤を溶かしたぬるま湯で約10～15分漬け置き洗いします。水洗いの際はフィルターを枠から出さないでください。

水洗い後は、軽く水切りをし、日陰でよく乾かします。

水切りの際はフィルターをしぼらないでください。

《交換の場合》新しいものと取り替え、古いフィルターは燃えるゴミとして処分してください。（材質：ポリプロピレン/紙）
詳しくはお住まいの地域のゴミ分別方法にしたがってください。



3 光触媒空清フィルター、エアフィルターをもと通り取り付け、前面グリルを閉じます。

■ 隠ぺい形（天井埋込形兼用）[145－7140～7143]（半間幅・一間幅押入れ設置の場合）

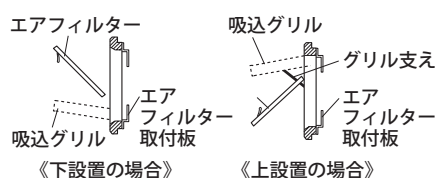
エアフィルターのお手入れ

半間幅：1ヶ月／一間幅：2週間に一度を目安に、お手入れ

1 エアフィルターを取り外します。

《半間幅押入れ下(上)設置の場合》吸込グリルを軽く上方向へ持ち上げ、手前に引いて取り外します。続いて、エアフィルター両側のツマミ部を上方向へ軽く持ち上げ、手前に引いて取り外します。

《一間幅押入れ下(上)設置の場合》吸込グリルの両端を持ち、手前に引きます。続いて、エアフィルターのツマミ部をつかみ、手前に引いて取り外します。



2 エアフィルターを掃除します。

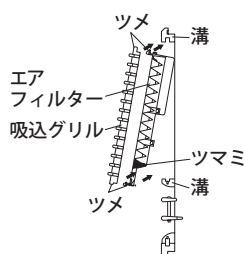
1 光触媒空清フィルター（別売品）が取り付けられている場合は、取り外します。

2 エアフィルターを水洗いするか、掃除機で吸い取り掃除します。汚れのひどい時は、中性洗剤を溶かしたぬるま湯で洗い、日陰でよく乾かします。

3 エアフィルター、吸込グリルをもと通り取り付けます。

エアフィルター両側のツマミ部を持って、上下各3カ所のツメを前面グリルの溝に上側から順に入れてください。吸込グリルも同様に取り付けます。

※エアフィルターは、右側（本体表示部側）寄りに入れてください。



⚠注意

- 吸込グリルが落ちないように、しっかりと手で支えて操作してください。
- 吸込グリルが確実に取り付けられていることを確認してください。

光触媒フィルター（別売品）

（半間幅設置のみ）

3ヶ月に一度を目安に、お手入れ。

1 エアフィルターを取り外してから、光触媒フィルターを取り外します。

素材が紙の為、つぶさないように片手でツメを外し、もう片方の手で光触媒フィルターを引き出します。

2 お手入れまたは交換します。

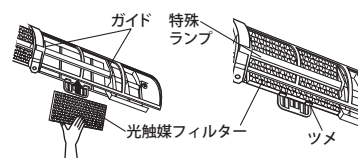
《お手入れの場合》掃除機でホコリを吸い取ってください。

※素材が紙のため、水洗いできません。

《交換の場合》新しい光触媒フィルターを取り付けてください。

3 光触媒フィルターを取り付けます。

光触媒フィルターをガイドにそって装着します（フィルターがツメに掛かっていることを確認します）。



い 快
た 適
だ に
く お
た 使
め い
に

② 日常のお手入れ（つづき）

■ 隠ぺい形（天井埋込形兼用）[145－7140～7143]（半間幅・一間幅押入れ設置の場合）

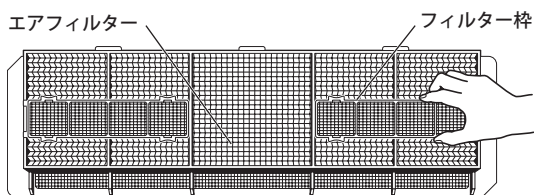
光触媒空清フィルター

（半間幅設置のみ）

6ヶ月に一度を目安に、水洗いすることで、
空気清浄能力が再生します。
また、3年を目安に交換をおすすめします。

1 エアフィルターを取外してから、 光触媒空清フィルターを取外します。

フィルター枠のツマミを持ち4ヵ所の取付けフックよりはずす。



2 お手入れまたは交換します。

《お手入れの場合》掃除機でホコリを吸い取り、軽く水洗いします。

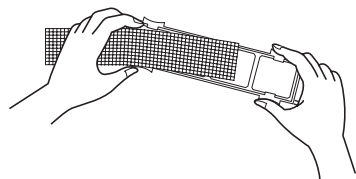
汚れのひどいときは、中性洗剤を溶かしたぬるま湯で約10～15分漬け置き洗いします。
水洗いの際はフィルターを枠から出さないでください。

水洗い後は、軽く水切りをし、日陰でよく乾かします。

水切りの際はフィルターをしぼらないでください。

《交換の場合》新しいものと取り替え、古いフィルターは燃えるゴミとして処分してください。（材質：ポリプロピレン/紙）

詳しくはお住まいの地域のゴミ分別方法にしたがってください。



3 光触媒空清フィルター、エアフィルターをもとを通り取り付け、吸込グリルを取り付けます。

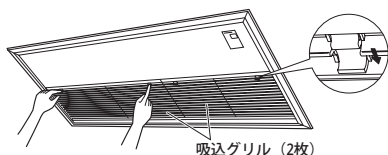
■ 隠ぺい形（天井埋込形兼用）[145－7140～7143]（天井埋込カセットビルトイン設置の場合）

エアフィルター・吸込グリルのお手入れ

1ヶ月に一度を目安に、お手入れ

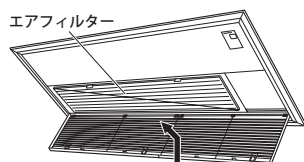
1 吸込グリルを開けます。

吸込グリル1枚に2カ所あるツメを外し、ゆっくりとグリルを開けます。



2 吸込グリルを外し、掃除します。

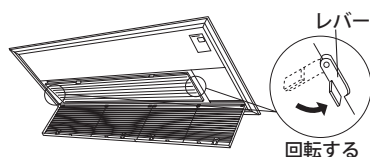
- 1 吸込グリルを少し持ち上げ、手前へ引いて取外します。



- 2 中性洗剤を溶かしたぬるま湯または水を布に含ませて軽く汚れを拭き取ってください。汚れがひどい時は丸洗いし、水気をよく拭き取り、日陰で乾かしてください。

3 エアフィルターを外し、掃除します。

- 1 左右2カ所あるレバーを回転させてエアフィルターを取り外します（エアフィルターの落下にご注意ください）。



- 2 エアフィルターを水洗いするか、掃除機で吸い取り掃除します。汚れのひどい時は、中性洗剤を溶かしたぬるま湯で洗い、日陰でよく乾かします。

4 エアフィルター、吸込グリルをもと通り取り付けます。

⚠注意

- 吸込グリルが落ちないように、しっかりと手で支えて操作してください。
- 吸込グリルが確実に取り付けられていることを確認してください。

光触媒フィルター（別売品）

3ヶ月に一度を目安に、お手入れ。

1 エアフィルターを取り外してから、光触媒フィルターを取り外します。

素材が紙の為、つぶさないように片手でツメを外し、もう片方の手で光触媒フィルターを引き出します。

2 お手入れまたは交換します。

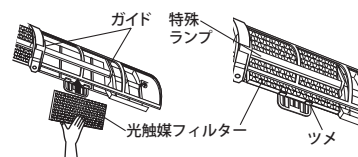
《お手入れの場合》掃除機でホコリを吸い取ってください。

※素材が紙のため、水洗いはできません。

《交換の場合》新しい光触媒フィルターを取り付けてください。

3 光触媒フィルターを取り付けます。

光触媒フィルターをガイドにそって装着します（フィルターがツメに掛かっていることを確認します）。



い 快
た 適
だ に
く お
た 使
め い
に

② 日常のお手入れ（つづき）

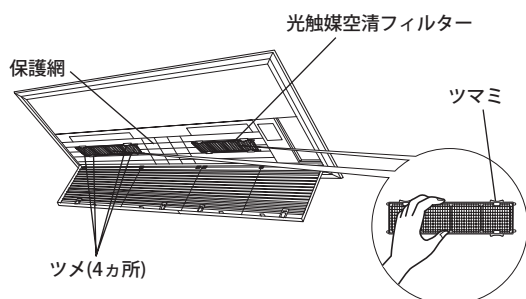
■ 隠ぺい形（天井埋込形兼用）[145－7140～7143]（天井カセットビルトイン設置の場合）

光触媒空清フィルター

6ヶ月に一度を目安に、水洗いすることで、
空気清浄能力が再生します。
また、3年を目安に交換をおすすめします。

1 エアフィルターを取外してから、 光触媒空清フィルターを取外します。

フィルター枠のツマミを持ち4ヵ所の取付けフックよりはずす。



2 お手入れまたは交換します。

《お手入れの場合》掃除機でホコリを吸い取り、
軽く水洗いします。

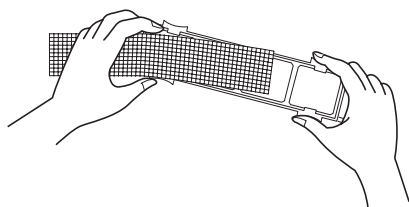
汚れのひどいときは、中性洗剤を溶かしたぬ
るま湯で約10～15分漬け置き洗いします。
水洗いの際はフィルターを枠から出さないで
ください。

水洗い後は、軽く水切りをし、日陰でよく乾
かします。

水切りの際はフィルターをしぼらないでくだ
さい。

《交換の場合》新しいものと取り替え、古いフィ
ルターは燃えるゴミとして処分してください。
（材質：ポリプロピレン/紙）

詳しくはお住まいの地域のゴミ分別方法に
したがってください。



3 光触媒空清フィルター、エアフィ ルターをもと通り取り付け、吸込 グリルを閉じます。

③ シーズン始め・終わりのお手入れ

シーズン始めのお手入れ

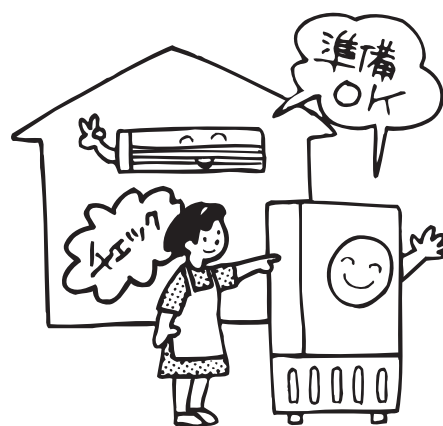
警告

- 室外機の吸気口、排気出口や排気ドレン口をふさがないでください。ふさがっている場合は、取り除いてください。燃焼不良による一酸化炭素中毒の原因になります。

注意

- アース線が外れていませんか？ 途中で断線していませんか？ 万一の場合感電しないために重要です。異常がある場合は、お買上げの販売店にご連絡ください。

- 運転開始の6時間以上前には電源を入れておいてください。
(上記を怠ると、コンプレッサ破損の原因となります。)
- 長時間ご使用にならないときは、必ず運転スイッチを停止にして、室外機のガスの元栓を閉めてください。
- 長時間ご使用にならないで、運転を開始するときに、室内機に付着したホコリが吹き出る場合がありますので、運転開始時は吹き出しグリルに顔を近づけないでください。
- 室内機の吸込口をふさいでいませんか？ 障害物がある場合は取り除いてください。能力低下や正常な運転ができなくなります。
- エアフィルターや吹き出しグリルを清掃してください。エアフィルターは清掃後、必ず元の位置に取り付けてください。
- ガス元栓を開けてください。
(ガスの元栓を閉じた状態で、リモコンをONした場合、セルモータおよび始動トランスを破損する原因となります。)



シーズン終わりのお手入れ

- 運転スイッチを停止にしてください。
- ガス元栓を閉めてください。
- エアフィルターや吹き出しグリルを清掃してください。エアフィルターは清掃後必ず元の位置に取り付けてください。



いた
た適
だにお
た使
めい
に

④故障かな？と思ったら

■ サービスを依頼する前に次のことをお調べください

運転しない	①専用ブレーカがOFFになっていませんか？	—
	②リモコンが電池切れになっていませんか？	19ページ
	③ご家庭のヒューズやブレーカが切れていませんか？	—
	④ガス元栓が閉まっていませんか？	—
	⑤停電ではありませんか？（停電後は運転が停止したままとなります）	—

よく冷えない よく暖まらない	①エアフィルタにホコリが詰まってませんか？	36ページ
	②リモコン設定は適正になってますか？	21,34ページ
	③上下風向板は正しい位置になってますか？	22ページ
	④室内・室外機の吹出口や吸込口を障害物などでふさいでいませんか？	—
	⑤風量が「微」になっていませんか？	21ページ
	⑥窓や扉が開いていませんか？	—
	⑦（冷房時）直射日光が入っていませんか？	35ページ
	⑧（冷房時）在室人員が多すぎませんか？	—
	⑨（冷房時）室内に熱を発生するものがありますか？	—

運転中に停止 する	①室内機の吸込口や吹出口をふさいでいませんか？	—
	②エアフィルタが目詰まりしていませんか？	36ページ
	③室外機の換気口、吸気口、排気口、熱交換器をふさいでいませんか？	35ページ

い 快
た 適
だ に
く お
た 使
め い
に

■ 次の場合は故障ではありません

「シュルシュル」「シャー」 「ポコポコ」「ブシュ」という音	室内機の中を冷媒がパイプの中を流れる音と、流れの方向を切り換えるときの弁の音です。
「ピシパシ」という音	温度変化で室内機自体が膨張・収縮する音です。
「バサバサ」という音	運転開始時など、室内ファンの回転数が変わるためです。
運転音が変わる	室温の変化に応じて、室外機のエンジンが回転数を変更するためです。
霧が出る（冷房時）	室内の空気がエアコンの冷気で急速に冷やされて霧になるためです。
室外機から湯気が立つ	排気ガスの水蒸気のためです。
においがする	室内の空気に含まれているタバコ・化粧品・食品などいろいろなにおいがエアコンに付着し、これが吹き出すためです。（※1）
運転ランプが点灯→点滅→点灯している	予熱運転中に停止→運転したり、冷房から暖房に運転を切り換えたときに、保護回路または、予熱センサーが働くためです。
運転しない （停止後すぐに再運転したとき）	リモコンの運転ランプが点灯していれば正常です。機械に無理がかからないよう安全装置が働いているためです。3分後に自動的に運転を開始します。
運転しない（電源を入れた直後）	マイコンの運転準備のためです。約3分待ってください。
霧が出る（暖房時）	熱いガス（冷媒）が室内機に流れ込み湯気が発生するためです。
霧が出る（油分やほこりの多い場所）	室内機内部の汚れがひどい場合に、温度むらが生じるためです。（※1）
ホコリが出る	室内機内部に付着したホコリが吹き出るためです。
暖房運転中ファンが停止する	暖房運転で低外気（-3℃以下）の時、暖房のききを良くするため室外機ファンを停止させます。
運転時室外機の床面が水で濡れる	運転時室内機に付着した凝縮水が滴下する場合があります。
暖房運転中に室外機の熱交換器に霜がつく	気象条件により霜がつくことがあります。 異常ではありません。
暖房運転中に室内機から一時的に風が出ないときや一時的に風が弱くなるときがある	室外機が除霜運転しているためです。 異常ではありません。
ドライ運転しているのに湿度が下がらない	室内・屋外の周囲状況によってはご希望の湿度にならない場合があります。設定温度を下げてください。
運転中に暖気を感じる	停止中でも、他室内機が暖房運転している場合には、暖気を感じることがあります。 （停止中の室内機にも暖かい冷媒が流れるためです）
運転が止まる （運転ランプが点灯）	電圧が急に大きく変動した場合、製品保護のため、停止することがあります。約3分後自動的に運転を再開します。
途中で運転が止まる （入タイマー運転中）	入タイマーを予約すると、その時刻にリモコンの設定温度になるように、最長1時間前から運転を始めます。このあいだにリモコンを操作（運転／停止ボタンを除く）すると、停止するようになっています。リモコンで再度運転を行ってください。
室内機に露が付き、滴下する	適切な使用温度範囲内であっても、特に長時間連続的に運転したり、常に外気が流入するお部屋で運転すると露が付き滴下する場合があります。

い 快
た 適
だ に
く お
た 使
め い
に

（※1） 室内機内部の洗浄が必要です。洗浄には専門の技術が必要ですので販売店にご相談ください。

④故障かな？と思ったら（つづき）

■ こんな時はすぐ販売店へ！

以上のことをお調べになり、それでも具合の悪いときや下記のような現象が出たときは、専用ブレーカを“OFF”にし、すぐにお買い上げの販売店にご連絡ください。アフターサービスについては51ページをご覧ください。

- ブレーカやヒューズがたびたび切れる。
- スイッチの動作が不確実。
- 誤ってエアコン内部に異物や水を入れてしまった。
- コードの過熱やコードの被覆に破れがある。
- 室内機の「運転ランプ」が点滅している。

運転中に万一異常がおきましたときは、室内機の「運転ランプ」が点滅します。運転ランプが点滅すると場合により装置が停止します。運転ランプが点滅したときは専門のサービスマンによる点検と修理が必要です。販売店にご連絡ください。なお、室外機の「アワメータ」（運転時間表示）の表示画面に下表の表示記号があわせてでます。この場合、販売店等に連絡していただくときは、この室外機の「アワメータ」の表示記号もあわせて連絡してください。アワメータ表示記号は下記表を参照してください。

□異常コード表

リモコン	室外機	異常内容	リモコン	室外機	異常内容
E0	E0	エンジン起動不能	J9	J9	低圧センサー系異常
E1	E1	エンジン過回転	JA	JA	吸入温度センサー4系異常
E2	E2	エンスト	JC	JC	エンジンルーム温度センサー系異常
E3	E3	油圧低下異常	JJ	JJ	吸入温度センサー5系異常
E4	E4	冷却水温度異常	L1	L1	排気温度異常
E6	E6	吐出温度異常	L5	L5	欠相検知
E7	E7	高圧異常	L8	L8	定期点検時期のお知らせ（異常ではありません）
E9	E9	低圧異常	LA	LA	カムパルスセンサー断線
EH	EH	投入ソフト機種間違い	LE	LE	スタータリレー不良
F0	F0	スタータ系不良	LH	LH	クランクパルスセンサー断線
F3	F3	油圧スイッチ系異常	P0	P0	室内機接続台数異常
F4	F4	冷却水温度センサー系異常	P3	P3	室内機合計容量異常
F6	F6	吐出温度センサー系異常	U2	U2	CPU間通信異常
F7	F7	エンジンルーム温度異常	U3	U3	点火ユニット通信異常
F9	F9	冷媒不足	U4	U4	分岐ユニット-室外機間伝送異常
FJ	FJ	高圧差圧異常1	UA	UA	室内機リモコン組合せ不良/冷媒種異常
H1	H1	クラッチ異常	●室外機表示画面(6桁)の左端の「A」表示は、メンテマン情報有りを示します。 ※リモコンに異常コード F7, FE, FJが表示された場合、リモコンでリセットは出来ません（電源リセットで可能です）。		
H6	H6	室内機電子膨張弁異常			
J1	J1	空燃比制御装置異常			
J2	J2	吸入温度センサー1系異常			
J3	J3	外気温度センサー系異常			
J4	J4	吸入温度センサー2系異常			
J5	J5	電子膨張弁断線異常			
J6	J6	吸入温度センサー3系異常			
J7	J7	高圧センサー系異常			
J8	J8	排気温度センサー系異常			

※運転中に万一異常がおきた時は、室内機の「運転ランプ」が点滅します。

□室外機アワメータ部に表示されない異常コード

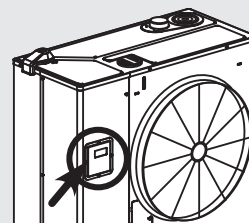
リモコン	異常内容
A1	プリント基板不良
A3	ドレン水位系異常による停止
A5	凍結防止・ピークカット
A5	室内氷結防止
A6	ファン電動機異常による停止
A9	電動弁コネクタ外れ（各室電動弁、バイパス電動弁）
C1	液管サーミスタ異常
C2	ガス管サーミスタ異常
C4	室内熱交サーミスタ異常
C7	一方向設定時シャッタ駆動モータ異常
C9	室内吸込サーミスタ異常
U6	分岐ユニット-室内機間伝送不良
UC	現地設定不良アドレス設定不良
UH	他室内機異常（同一分岐ユニット系統）※

※UHは他室内機（同一分岐ユニット系統）にA5 室内氷結防止、A9 電動弁コネクタ外れが発生した場合のみ表示されます。

（室内機運転ランプ位置）

- ・壁掛形 P.13参照
- ・天井カセット形 P.14参照
- ・壁埋込形 P.15参照
- ・隠ぺい形 P.16参照

（室外機アワメータ表示部）



⑤アフターサービスと保証

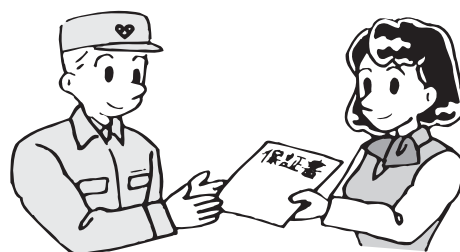
■ 修理を依頼するとき

- お買い求めの販売店にご連絡ください。
ご連絡の際、下記の事項をハッキリお示しください。

- (1) 品 名…ガスヒーポンハウジングマルチ
- (2) 型 番…室外機左側面に貼付してあります。
(例) 145-1102の場合

(N)145-1102

大阪ガス株式会社



- (3) 故障または異常の内容（できるだけ詳しく）
- (4) 訪問ご希望日

⚠ 警告



- エアコンをご自分で修理や改造しないでください。
- 修理に不備があると水漏れや感電、火災の原因になります。



■ 保証書・保証期間について

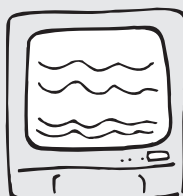
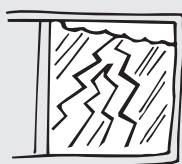
この機器には保証書がついています。

当社は保証書に記載してあるように、機器の販売後、機器に故障がある場合、一定期間と一定条件のもとに、無料修理に応じることをお約束します。（詳細は保証書をご覧ください。）

保証書を紛失されますと無料修理期間であっても修理費をいただく場合がありますので大切に保管してください。

知っておいて いただきたい こと

- 雷や、無線などのノイズによりエアコンが誤作動したり、停止することがあります。
- このような場合はお買い求めの販売店にご相談ください。
- 室外機を運転することによりテレビ画面のみだれや、ラジオにノイズが入ることがあります。
- このようなときはアンテナを室外機より離してください。
- 停電後は、通常のリモコン操作をして運転を再開してください。
- 電源が切れますと、「再起動防止回路」が働き電源が入っても約3分間は運転しません。



い 快
た 適
だ に
く お
た 使
め い
に

⑥ 定期メンテナンスについて

■ 定期点検について

●：交換 ○：点検・調整・清掃

点検整備項目		点検間隔	
		毎年	通常点検
ガスエンジン	エンジンオイル	○	● 10000時間毎又は6年毎
	エンジンオイルフィルタ		● 10000時間毎又は6年毎
	エアクリーナエレメント		● 10000時間毎又は6年毎
	点火プラグ		● 10000時間毎又は6年毎
	バルブクリアランス		○ 10000時間毎又は6年毎
	冷却水（含不凍液）		○ 10000時間毎又は6年毎
	排気ドレンフィルタ		● 20000時間毎
その他駆動系	燃料ホース	○	○ 10000時間毎又は6年毎
			● 20000時間毎
	Vベルト	○	● 10000時間毎又は6年毎
	冷却水ホース	○	○ 10000時間毎又は6年毎
圧縮機	騒音	○	○ 10000時間毎又は6年毎
	冷媒・冷凍機油漏れ	○	○ 10000時間毎又は6年毎
室外機	騒音・振動	○	○ 10000時間毎又は6年毎
	さび・がたつき・吸音材のはがれ	○	○ 10000時間毎又は6年毎

⚠️ 注意 ●使用頻度が少なく6年間で10000時間に達しない場合でも、6年目には実施が必要です。

定期点検

ガスヒートポンプハウジングマルチの性能を維持し、お客様が安全により長く快適にお使いいただくために専門のサービスマンによる定期点検が必要です。

定期点検は、10000時間もしくは6年毎*に行ってください。（1800時間／年と想定）

定期的な部品交換が中心となる項目で、必ず実施していただかなければならない内容です。

運転時間毎、期間毎、確実に行きませんと、性能を維持できなかつたり、運転停止の原因になります。

*お客様の使用頻度によって、10000時間または6年のどちらか早く到達した時期となります。

保守契約のおすすめ

保守契約はガスヒートポンプハウジングマルチの定期点検に関してあらかじめお任せいただくシステムです。

保守契約を継続していただくと、毎年一回専門のサービスマンがお伺いして、システムの稼働状況を確認するとともに、10000時間または6年毎に必要な定期点検部品交換を実施します。

又、契約期間中の故障発生に必要な部品や技術料、出張費も無料となります。

お気軽にお買い求めの販売店にご連絡ください。



快適に
おた
め

⑦ 安全銘板と取付位置

■ 警告・注意銘板の種類



ラベル（警告・高温）

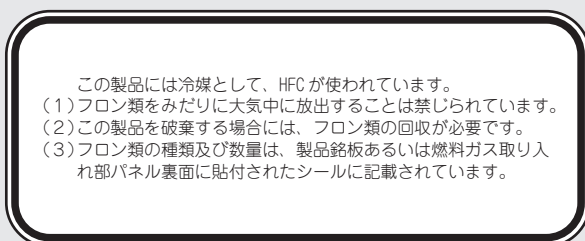


ラベル（警告・回転）



ラベル（警告・指）

■ 法令に関する注意



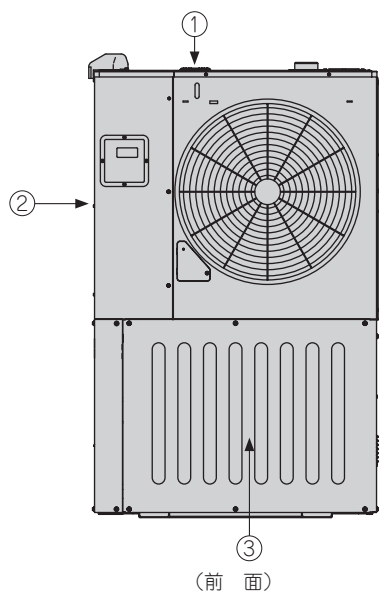
ラベル（フロン回収）

い 快
た 適
だ に
く お
た 使
め い
に

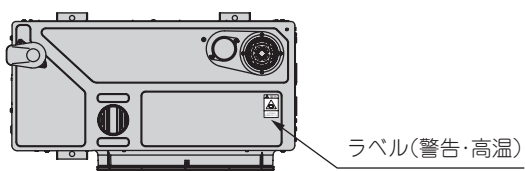
⑦安全銘板と取付位置（つづき）

■ 安全銘板の取付位置

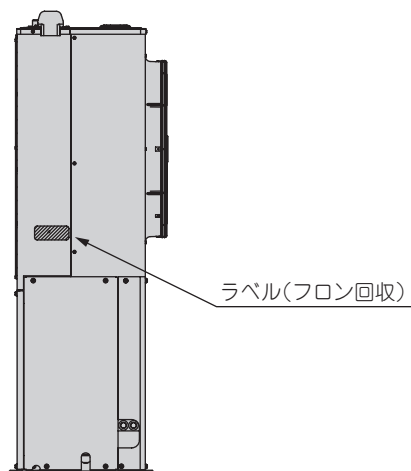
室外機



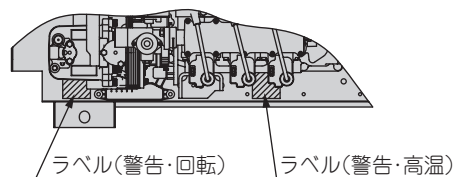
①室外機上部



②室外機左側面



③エンジンルーム内



い
快
適
だ
に
お
使
め
に

5

仕 様

①室外機の仕様	56
②室内機の仕様	57

① 室外機の仕様

■ 室外機仕様

項目		機種	(N)145－1102型 / (P)145－1102型		
外形寸法 (mm)	高 さ		1740	運転電流 (A)	冷房時 2.29
	幅		1100		暖房時 2.32
	奥 行		500	始動電流 (A)	15
質 量 (kg)			380	騒音値 ※2 (dB(A))	48 (45 ※3)
接 続 ※1	ガ ス		R1/2 (15A) オス	定格能力 ※3 (kW)	冷房時 14.0
	電 源		AC単相200V		暖房時 (外気温度7℃) 16.0
	冷媒ガス管 (mm)		φ 15.88 × 1		暖房時 (外気温度2℃) 17.0
	冷媒液管 (mm)		φ 9.52 × 1	ガスの種類	都市ガス13A / LPG
	冷媒配管位置		左側面	ガス消費量 (kW)	冷房定格 12.8
	排気ドレン出口 (mm)		φ 16		暖房定格 11.4
冷 媒	種 類		R-410A	※1 ガス配管口径・ガスメーターの選定に際しては空気条件（外気温度等）によりガス消費量が変化しますのでご注意ください。 ※2 運転音はJISB8627の条件（高さ1、前方1m）にて無響室で測定した値です。 ※3 冷房時外気温度30℃以下 暖房時外気温度9℃以上での値。 ※4 冷暖房能力は、JISB8627の条件、冷媒配管7.5m、室内機14.0kW（2.8kW×5台）で運転した場合の最大能力。 冷房時：室内側吸込空気温度27℃ DB、19℃ WB、 室外側吸込空気温度35℃ DB 暖房時：室内側吸込空気温度20℃ DB、19℃ WB、 室外側吸込空気温度7℃ DB、6℃ WB	
	封入量 (kg)		8.4		
排気ガス	出 口 (mm)		φ 120 (上面)		
エンジン	排気容量 (cm ³)		699		
	定格出力 (kW)		3.75		
	回転範囲 (min ⁻¹ (rpm))		900～1600(暖房時2800)		
	始動方式		AC電源DCスターター		
コンプレッサー	潤滑油量 (L)		総油量 20		
	形式×台数		スクロール式×1		
消費電力 (W)	冷房時		440		
	暖房時		440		

■ 分岐ユニット仕様

項目			機種	148－0220型 (2室用)	148－0221型 (3室用)
外形寸法 (mm)	高　さ			180	180
	幅			294 (配管含まず)	294 (配管含まず)
	奥　行			349	349
質　量			(kg)	8.0	8.5
接	室外機側	ガス管		$\phi 15.88 \times 1$	$\phi 15.88 \times 1$
		液　管		$\phi 9.52 \times 1$	$\phi 9.52 \times 1$
続	室内機側	ガス管		$\phi 9.52 \times 2$	$\phi 9.52 \times 3$
		液　管		$\phi 6.35 \times 2$	$\phi 6.35 \times 3$
電　源			(V)	AC単相200V (室外機とは別電源)	AC単相200V (室外機とは別電源)

②室内機の仕様

■ 壁掛形

項目		型番 (ホワイト) (ベージュ)	145-7100 145-7101	145-7102 145-7103	145-7104 145-7105	145-7106 145-7107	145-7108 145-7109	145-7110 145-7111
外形寸法 (mm)	高 さ	290						
	幅	795						
	奥 行	238						
質 量		(kg)	9					10
能 力 (kW)	冷 房	2.2	2.5	2.8	3.2	4.0	5.0	
	暖 房	2.5	2.8	3.2	3.6	4.5	5.6	
消費電力 (W)	冷 房	28		31		33		
	暖 房	28		31		33		
運転電流 (A)	冷 房	0.28	0.28	0.31	0.31	0.33	0.32	
	暖 房	0.28	0.28	0.31	0.31	0.33	0.32	
風量(強)(m ³ /min) 冷/暖		11.3/11.7	11.3/11.7	12.1/12.5	12.1/12.5	12.1/14.7	12.6/12.6	
騒音(強)(dB(A)) 冷/暖		41/42	41/42	42/43	42/43	43/44	45/45	
冷媒配管 (mm)	ガス管	φ 9.52						
	液 管	φ 6.35						
ドレン配管出口		VP13						
電 源		(V)	分岐ユニットより供給					

■ 天井カセット形

項目		型番	145-7120	145-7121	145-7122	145-7123
外形寸法 (mm)	高 さ		185			
	幅		880			
	奥 行		360			
質 量		(kg)	12			
能 力 (kW)	冷 房		2.8	3.2	4.0	5.0
	暖 房		3.2	3.6	4.5	5.6
消費電力 (W)	冷 房		25	28	31	45
	暖 房		25	28	31	45
運転電流 (A)	冷 房		0.21	0.23	0.26	0.39
	暖 房		0.21	0.23	0.26	0.39
風量(強)(m ³ /min) 冷/暖			7.4/9.1	8.0/9.5	8.6/9.9	10.6/11.5
騒音(強)(dB(A)) 冷/暖			35/37	37/38	39/39	45/45
冷媒配管 (mm)	ガス管		φ 9.52			
	液 管		φ 6.35			
ドレン配管出口			VP25			
電 源		(V)	分岐ユニットより供給			

- ・冷房暖房能力は、JISB8627条件にて、配管相当長7.5m、高低差0m、標準組合せ時の室内機1台当りの能力です。
- ・能力特性は室内・室外機の組合せにより変わります。
- ・運転音値は、JIS C9612条件に準拠し、無響室換算した室内機風量「強」設定時の値です。
実際の設置においては運転条件や周囲の状態によって大きくなるのが普通です。

②室内機の仕様（つづき）

■ 壁埋込形

項目		型番	145-7130	145-7131	145-7132	145-7133
外形寸法 (mm)	高 さ		322			
	幅		770			
	奥 行		180			
質 量		(kg)	10			
能 力 (kW)	冷 房		2.2	2.8	3.2	4.0
	暖 房		2.5	3.2	3.6	4.5
消費電力 (W)	冷 房		17	21	22	24
	暖 房		17	21	22	24
運転電流 (A)	冷 房		0.18	0.22	0.23	0.24
	暖 房		0.18	0.22	0.23	0.24
風量(強)(m ³ /min) 冷/暖			7.0/8.6	8.0/9.3	8.2/10.2	8.6/10.8
騒音(強)(dB(A)) 冷/暖			35/36	36/38	38/41	40/42
冷媒配管 (mm)	ガス管		φ 9.52			
	液 管		φ 6.35			
ドレン配管出口			VP20			
電 源		(V)	分岐ユニットより供給			

■ 隠ぺい形（天井埋込形兼用）

項目		型番	145-7140	145-7141	145-7142	145-7143
外形寸法 (mm)	高 さ		230			
	幅		760			
	奥 行		500			
質 量		(kg)	11			
能 力 (kW)	冷 房		2.8	3.2	4.0	5.0
	暖 房		3.2	3.6	4.5	5.6
消費電力 (W)	冷 房		49	58	67	71
	暖 房		49	58	67	71
運転電流 (A)	冷 房		0.46	0.53	0.62	0.66
	暖 房		0.46	0.53	0.62	0.66
風量(強)(m ³ /min) 冷/暖			9.6/10.0	10.4/10.0	11.1/10.9	11.6/11.8
騒音(強)(dB(A)) 冷/暖			40/42	42/42	44/44	45/46
冷媒配管 (mm)	ガス管		φ 9.52			
	液 管		φ 6.35			
ドレン配管出口			VP16 または VP20			
電 源		(V)	分岐ユニットより供給			

- ・冷房暖房能力は、JISB8627条件にて、配管相当長7.5m、高低差0m、標準組合せ時の室内機1台当りの能力です。
- ・能力特性は室内・室外機の組合せにより変わります。
- ・運転音値は、JIS C9612条件に準拠し、無響室換算した室内機風量「強」設定時の値です。
実際の設置においては運転条件や周囲の状態によって大きくなるのが普通です。

(お問い合わせや修理依頼の時の
ために記入しておいてください。)

室外機形式		
室外機製造番号		
引渡し年月日		
施工業者名		
販売店	名称	
	担当者	
	電話番号	
	FAX番号	



⚠安全に関するご注意

（冷暖房機使用対象について）

- このカタログに掲載の冷暖房機は、対人専用の冷暖房装置です。食品・動植物・精密機器・美術品等の保存等の特殊用途には使用しないでください。品質低下等の原因になることがあります。
- 車両、船舶の空調用等としては使用しないでください。振動や塩害等により水漏れ、油漏れ、漏電の原因になります。

（ご使用に際して）

- ご使用前に、「取扱説明書」をよくお読みのうえ正しくご使用ください。

（据え付けに際して）

- 据え付け場所等に関しては、販売店または専門業者とご相談ください。
- 据え付け工事をご自分でされ、不備がありますと、ガス漏れ、水漏れや感電、火災の原因になります。
- 別売品は、必ず指定の製品を使用してください。また取付工事は、販売店または専門業者に依頼してください。ご自分で工事され、不備がありますと水漏れ、感電、火災の原因になります。
- 小部屋に据え付ける場合は、冷媒漏洩時の限界濃度を越えない対策が必要です。ガスヒートポンプ冷暖房機に使用している冷媒（R410A）は、それ自体は無毒・不燃性の安全な冷媒ですが、万一室内に冷媒が漏れた場合は、その濃度が許容値を越えるような小部屋では、窒息等の危険がありますので、許容値を越えない対策が必要です。

（ご使用場所について）

- 可燃性ガスの洩れる恐れや引火物のあるところへは据え付けないでください。
可燃性ガスの発生、流入、滞留の恐れのある場所やカーボン繊維が浮遊する場所では火災の原因になることがあります。
- 室外機は、排気ガスが滞留しないよう大気に開放された屋外に据え付けてください。また、建物の給排気口や、窓、建物内へ連絡する配管や通気口等から室外機の排気ガスが建物内に入らないよう室外機の設置場所に注意してください。排気ガスが建物内に流入すると中毒等の原因になります。
- 点検、メンテナンス作業のための規定のスペースを確保してください。

（定期点検について）

- ガスヒートポンプ冷暖房機は、定期点検が必要です。定期点検を行わないと機器故障等の原因となります。
- 定期点検に関しては、販売店または専門業者とご相談ください。

ご使用前に必ず取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

《大阪ガスのお問い合わせ先》

大阪リビング営業部	〒550-0023	大阪市西区千代崎3丁目南2-37	電話 0120-0-94817
南部リビング営業部	〒590-0973	堺市住吉橋町2丁目2-19	電話 0120-3-94817
北東部リビング営業部	〒569-8569	高槻市藤の里町39-6	電話 0120-5-94817
兵庫リビング営業部	〒650-0044	神戸市中央区東川崎町1丁目8-2	電話 0120-7-94817
京滋リビング営業部	〒600-8815	京都市下京区中堂寺栗田町93	電話 0120-8-94817

（所在地・電話番号などは変更がある場合がありますので、その節はご容赦願います。）

大阪ガス株式会社

⚠危険



連絡する

ガスくさいときはガス栓を閉め、窓を全開にしてから（火気に注意して）大阪ガスにご連絡ください。